

## 平成 28 年度事業実績

### 1 利用者の状況

#### (1) 施設区分・年度別利用者数

(単位：人)

年度(平成)	24	25	26	27	28
ホール	102,841	103,762	107,298	104,848	115,802
多目的プラザ	20,534	22,909	25,434	26,395	25,313
練習室	16,667	14,463	16,912	18,843	18,218
科学体験室・科学情報室 1	4,251	1,431	921	989	1,030
研修室	12,890	14,458	15,527	16,061	10,766
屋上(星空観察会)	1,008	954	955	682	792
演劇資料室	2,224	2,218	2,727	2,290	2,407
子ども・若者総合相談センター(ひきこもり地域支援センター) 面接相談	451	487	755	1,116	1,284
青少年サポートプラザ 2	11,782	9,990	3,603	4,061	5,252
(青少年サポートプラザ登録団体による 研修室利用)			(226)	(250)	(551)
計 (a)	172,648	170,672	174,132	175,285	180,864
県西部青少年サポート相談室面接相談	177	93	83	79	88
神奈川県青少年サポート相談室 面接相談	-	-	-	-	62
学校等他の施設利用 3	8,805	14,314	13,937	21,659	11,768
合計	181,630	185,079	188,152	197,023	192,782

1 科学情報室は、平成 25 年 12 月末をもって廃止した。

2 平成 26 年 3 月末に別館の青少年サポートプラザを閉館し、本館に移設した。

3 「学校等他の施設利用」とは、神奈川県立青少年センター以外の施設(学校、市役所、公民館、野外施設など)で実施している講座や講演会などを記載している。

#### (2) 施設利用者の内訳

児童・生徒 (小学生～高校生)	一般	合計
54,143	120,185	174,328

(注) 面接相談及び青少年サポートプラザ利用者数は、生徒・一般の区分は設けていないため、内訳集計から除いている。

## 2 事業の実施状況

### (1) 全館的事業

青少年センターの事業を円滑に運営するため庁舎諸施設の維持管理、人事、財産、予算経理等の管理事務及び県下に広く青少年センターの事業を周知するための広報活動事業を実施した。

#### ア 広報活動事業

##### (ア) 行事紹介ポスター・チラシの作成

青少年センターの行う事業を青少年・一般県民に広く周知し、利用促進を図るため、広報資料の印刷物を配布した。

発行物	大きさ	発行回数	発行部数	配布先
センター行事予定ポスター	A2判	5月,7月, 9月,11月, 1月,3月 (年6回)	2,000枚/回 (年12,000枚)	児童施設、図書館、 小・中・高校、公共施設等、 本庁、県出先機関
センター行事予定 チラシ	A4判 (両面刷)		6,000枚/回 (年36,000枚)	上記のほか 銀行、市町村、報道機関等

##### (イ) 青少年センター施設紹介リーフレットの増刷

課の統廃合や別館廃止に伴う館内レイアウトの変更を反映した施設紹介リーフレットを作成した。(9月発行 1,000部作成)

##### (ウ) フェイスブックページの開設

近年のソーシャルメディアの普及に伴い、新たな媒体を活用した積極的な情報の発信を行うことで、従来の利用者のみならず、新たな利用者層を開拓することを目的に、フェイスブックページを開設した。

開設日 : 平成27年2月21日

アドレス : <https://www.facebook.com/kanagawa0230>

#### イ 青少年センター子どもフェスティバル

開催日 : 1月22日(日)

一般参加者 : 1,060人

総数 : 1,389人(出展・出演団体、子ども会関係者等を含む)

(2) 青少年の体験学習を推進する人材の育成

人材の育成事業として、地域で青少年の支援・指導に関わる方や青少年行政・施設関係職員、そして青少年に関わる活動をしている若者を対象とした研修を実施した。研修にあたっては、自然体験、野外活動、環境学習等の多様な体験や群れ遊びの実践、そして仲間づくり・グループづくりに効果的なアイスブレイキングや様々なグループワークの体験、また、若者を対象とした研修では、実際に青少年センター事業である「子どもフェスティバル」や子どもキャンプの企画づくりをし、運営するなど、活動に必要な知識・技術を参加者自身が実践的・体験的に身につけ、参加する中で横のつながりを築くこともできる内容とした。

また、神奈川県青少年指導者養成協議会を運営し、県・市町村・青少年関係団体の連携を図るとともに、団体等への活動支援として協働での事業開催や講師派遣、子ども達が遊びながら学ぶことができるアクティビティ集の発行を行った。

さらに、地域で青少年の健全育成活動に貢献している方々を表彰するなど、青少年育成活動への県民の理解と啓発にも努めた。

区分	事業名	概要	対象者	参加者延べ数
ア 青少年支援・指導者育成推進事業				
(ア) 青少年支援・指導者の育成	青少年指導員セミナー	地域県政総合センター等と共催で青少年指導員として地域で活動するための知識や技術を身につける。各地域の実状や要望に合わせたテーマを設定し実施する。(全4回)	青少年指導員	203人
	体験学習サポーター養成講座	子ども・若者のコミュニケーション能力の向上、生き抜く力の向上を目指し、コミュニケーションの技法や自然体験・野外活動・環境学習等の多様な体験やワークショップを通して、地域の青少年支援・指導者の総合的なスキルアップを図る。(日帰り4回+1泊2日2回)	青少年支援・指導者、教員、教員志望の学生、青少年行政関係職員等	150人
	遊びサポーター養成講座	地域で青少年活動に携わる支援・指導者が「遊びサポーター」となり、地域の子もたちが遊びを通してコミュニケーション能力を向上させるため、集団遊びの方法を伝えるノウハウを学ぶとともに、実践を通して各自のスキルの向上を図り、地域の青少年活動の活性化を図るようにする。(日帰り3回)	青少年支援指導者、教員、教員志望の学生、青少年行政関係職員、ジュニア・リーダー等	56人 イベント(子ども) 22人
	リードアップセミナー	新規青少年行政関係職員等を対象に、効果的な業務遂行に必要な基礎的知識と技能の向上を図り、お互いのネットワークづくりをする。(日帰り2回+1泊2日1回)	新転入青少年行政関係職員、青少年関係団体職員等	60人
	フォローアップセミナー	青少年行政関係職員等が効果的に職務を遂行するために必要な能力の向上・知識技術の習得・ネットワーク化・情報交換の活発化を図る。(日帰り3回)	青少年行政関係職員、青少年関係団体職員等	71人

区分	事業名	概要	対象者	参加者 延べ数
	子ども施設の指導員セミナー	子ども施設（児童館等）の指導員向けに、子ども・若者が自ら成長するために必要な知識・技術の習得と能力の向上を図る。（日帰り6回）	青少年育成施設及び類似施設の職員	279人
	子どもに関わる若者ボランティアセミナー	「子どもフェスティバル」の体験ブースの企画や運営を通して、イベントの企画や運営の基礎、子ども達への対応力等を身につけ、スキルの向上を図ると共に、参加者のスキルアップを通じて、各地域での青少年育成活動の普及拡大を目指す。（日帰り5回）	子どもと関わるボランティア活動に興味のある大学生、社会人（19～29歳まで）	38人
	子どもキャンプ企画・体験セミナー	キャンプの企画運営を通して、企画力、コミュニケーション能力の上達を図り、青少年育成活動への興味・関心を高め、参加者相互の交流を深め、地域の体験活動への興味・関心を高める。（日帰り4回+2泊3日1回+1泊2日1回）	子どもと関わるボランティア活動に興味のある大学生、社会人	46人 イベント (子ども) 16人
	子どもフェスティバル企画・体験セミナー	イベントの企画・運営方法を学び、実際にイベントを体験することで、ジュニア・リーダーとしてのスキルアップを図り地域活動の活性化を目指す。イベント「青少年センター子どもフェスティバル(子ども会大会)」の企画、準備、運営を体験する。（日帰り4回+1泊2日1回）	高校生以上のジュニア・リーダー	95人
(イ)青少年育成のための実践的調査研究	活動に役に立つマニュアル・手引作成	青少年活動に役立つマニュアル・手引を作成する。開発プログラムについて必要があれば報告書・マニュアル等を作成し、普及を図る。	-	-
(ウ)青少年育成のための啓発	青少年問題フォーラム	講演「つながりの中で人は育つ こども食堂の名づけ親が語る大切なこと」 子どもの6人に1人が貧困という今、貧困対策としてこども食堂が全国に広がっている。こども食堂の名づけ親を講師に迎え、食の安全から始まった居場所が、貧困だけでなく地域を支える力になるという実体験を伺いながら、私達に何ができるかを考えるきっかけにする。（日帰り1回）	一般	70人
(I)青少年支援・指導者、団体等への支援	青少年資料室の運営	青少年に関わる文献・資料・報告書等を整備して、青少年資料室を効率的に運営する。活動場所等についての情報を収集し、青少年支援・指導者及び青少年関係機関等への情報提供を図る。	-	-
	調査・アンケート実施	研修終了時のアンケートから事業を評価し、事業改善につなげるとともに、参加者の事後アンケート調査や取材調査により、研修後の活用についてまとめ、研修事業実施報告書により青少年関係機関へ提供する。	-	-

区分	事業名	概要	対象者	参加者 延べ数
	活動支援	青少年関係機関等からの依頼に応じて、場の提供、講師・指導者の紹介・派遣、プログラム紹介・指導を随時行う。	青少年係機関	講師紹介等6件 講師派遣13人
(オ)青少年指導者養成推進事業	青少年指導者養成連携・調整 (神奈川県青少年指導者養成協議会事業)	青少年支援・指導者の育成及び活動の効果的推進を図るとともに、県・市町村・青少年団体の連携強化を図る。	協議会関係者	165人
	・青少年支援・指導者活動状況調査 ・青少年支援・指導者育成事業実施結果及び計画の調査	・各機関や団体が把握している青少年支援・指導者の活動状況について調査する。 ・各機関や団体が把握している青少年支援・指導者育成事業の取り組み状況、次年度計画等について具体的に調査する。	県・市町村・青少年関係団体	-
<b>イ 地域活動推進事業</b>				
(ア)子ども会大会	子ども会大会	子ども会活動の発展に資することを目的として県子ども会大会を開催する	子ども会関係者、一般	1,389人
(イ)元気な子ども・若者の地域活動調査事業	元気な子ども・若者の地域活動調査事業	人間関係の希薄化、地域力の低下、ライフスタイルの変化等に伴う、新たな課題に対応した子ども・若者に関わる地域活動について、先進的な事例を取材・調査し、その成果を指導者・育成者、リーダー層の研修事業等で活用する。	ジュニア、シニア・リーダー等の高校生以上の若者	29人
(ウ)地域活性化事業(市町村・団体協働事業)	地域活性化事業(市町村・団体協働事業)	地域で行っている青少年活動の活性化を図るために、市町村と協働で研修を実施する。 子ども会指導者研修会(伊勢原市) (日帰り2回)	子ども会指導者、子ども会役員、青少年指導員	159人
		青少年指導員研修会(相模原市) (日帰り2回)		
<b>ウ 青少年関係団体育成事業</b>				
	-	青少年団体への助成や賛助により、団体活動の振興と育成、青少年活動の活性化を図る。	青少年団体	-
<b>エ 青少年育成県民運動推進事業</b>				
(ア)中学生の主張 in かながわ	中学生の主張 in かながわ	次代を担う子どもたちが、広い視野と柔軟な発想や創造性をもとに、物事を論理的に考える力や自らの主張を正しく理解してもらう力を身につけることを目的に、作文コンクールとその発表会を行う。	中学生	798人 (応募者)

各事業の内容は次のとおりである。

ア 青少年支援・指導者育成推進事業

(ア)青少年支援・指導者の育成

a 青少年指導員セミナー

回数	期日/場所	主な内容/講師	参加人数
1	5月28日(土) 大和市 勤労福祉会館	ワークショップ 「レクゲームの指導法とニュースポーツ体験」 講師：国際基督教大学専任講師 高橋 伸 氏	42人
2	6月11日(土) 小田原合同庁舎	ワークショップ 「青少年指導員の役割と青少年との接し方」 講師：県立青少年センター指導者育成課課長 川手 隆生	61人
3	6月11日(土) 平塚合同庁舎	ワークショップ 「子どもたちの元気を引き出す5つのポイントと3つのコツ」 講師：独立行政法人国立青少年教育振興機構本部指導主幹 北見 靖直 氏	61人
4	6月19日(日) 横須賀合同庁舎	ワークショップ 「ゲームの力で仲間づくり」 講師：NPO法人体験学習研究会プロデューサー 二宮 孝 氏	39人

b 体験学習サポーター養成講座

1 野外活動編

テーマ「海とともにだち 自然とともにだち 野外活動はじめての一步」

回数	期日/場所	主な内容/講師	参加人数
1	6月11日(土) ~12日(日) 県立YMCA三浦ふれあいの村、和田長浜周辺の海	海辺の体験活動についての講義と体験、安全管理について 講師：マリンオフィスムーンベイ 代表 小池 潔 氏 シーカヤック体験 講師：県立YMCA三浦ふれあいの村職員 アウトドアクッキング、野外テクニク講座 担当：青少年センター職員	13人

2 コミュニケーションスキルアップ編

テーマ「磨く！話術とゲーム術！指導者のためのセミナー」

回数	期日/場所	主な内容/講師	参加人数
1	7月23日(土) 青少年センター	ワークショップ「聞く人の心をつかむ 話し方」 講師：日本話し方センター 専任講師・産業カウンセラー 南村 しげる 氏	29人
2	8月18日(木) 青少年センター	ワークショップ「子ども達がひとつになる！アドベンチャープログラムのゲーム&アクティビティ」 講師：西多摩PACE主宰西脇KAI所属 甲斐崎 博史 氏	34人

### 3 グループワーク編

#### テーマ「グループワークの活用法」

回数	期日 / 場所	主な内容 / 講師	参加人数
1	7月28日(木) 青少年センター	アイスブレイキング 選択プログラム コピーブロック コーポラティブゲーム 学校GWT グループディスカッション「グループワークの活用法」 講義「体験学習について」 担当：青少年センター職員	22人
2	8月20日(土) 青少年センター	アイスブレイキング 選択プログラム わいわいブロック コーポラティブゲーム 学校GWT オリジナル実習「質問しちゃってください」 コンセンサスゲーム「クマに出会いたくない」 講義「体験学習について」 担当：青少年センター職員	25人

### 4 環境学習編

#### テーマ「PLT 資格取得講座」

回数	期日 / 場所	主な内容 / 講師	参加人数
1	11月6日(日) 青少年センター	アイスブレイキング体験、PLTプログラム体験 PLTティーチバック体験、PLTファシリテーション講義 講師：NPO法人体験学習研究会プロデューサー 環境学習トレーナー 二宮 孝氏	18人

### 5 自然体験編

#### テーマ「自然案内人実践講座 ～身近な自然のインタープリター～」

回数	期日 / 場所	主な内容 / 講師	参加人数
1	11月26日(土) ～27日(日) 県立足柄ふれあいの村	講義「インタープリテーション」「安全について」 プログラム体験 「葉っぱのラインナップ・マイリトルガーデンほか」 指導体験 「森の擬音まつり、森のレストラン、森のわらしべ長者、森のあいうえお」 講師：国際自然大学校 高橋 博氏	9人

### c 遊びサポーター養成講座

回数	期日 / 場所	主な内容 / 講師	参加人数
1	9月17日(土) 厚木市立愛甲公民館	実習 アイスブレイキング 実習 集団遊びの体験 講義 「遊びサポーターとは」 実習 遊びの企画 講義 「必要な力とは」 担当：青少年センター職員	19人

回数	期日 / 場所	主な内容 / 講師	参加人数
2	10月15日(土) 厚木市立愛甲公民館	実習 アイスブレイキング 実習 集団遊びの体験 実習 遊びの企画 実習 リハーサル 担当：青少年センター職員	20人
3	11月19日(土) 厚木市立愛甲小学校 厚木市立愛甲公民館	実習 遊び実践イベント 実習 ふりかえり 担当：青少年センター職員	17人 イベント (子ども) 22人

#### d リードアップセミナー

回数	期日 / 場所	主な内容 / 講師	参加人数
1	5月13日(金) 青少年センター	実習「アイスブレイキング体験」 担当：青少年センター職員 講演・ワークショップ「青少年行政の魅力とやりがい」 担当：青少年センター職員	24人
2	5月17日(水) ～18日(木) 県立愛川 ふれあいの村	1日目 実習「アイスブレイキング体験」 実習「コミュニケーションゲーム」 実習「火起こし・野外炊事」 実習「情報交換会」 2日目 実習「ニュースポーツ(クップ)」 実習「ウォークラリー」 担当：青少年センター職員	8人
3	5月27日(水) 青少年センター 文京区 青少年プラザb-lab	講演「中高生の居場所づくり」 講師：駒澤大学教授 萩原 建次郎 氏 施設見学「中高生の居場所づくりの現場-文京区青少年プラザb-lab-」 説明：東京都文京区青少年プラザb-lab館長 今村 亮 氏	28人

#### e フォローアップセミナー

テーマ「企画と広報につよくなる3つの視点」

回数	期日 / 場所	主な内容 / 講師	参加人数
1	2月9日(木) 青少年センター	「マーケティングで考える」事業企画に生かすマーケティングの手法 講師：法政大学キャリアデザイン学部教授 酒井 理 氏	17人
2	2月21日(火) 青少年センター	「言葉のみがく」印象に残るタイトルとキャッチコピーの作り方 講師：Willing Hands On 高瀬 桃子 氏	26人
3	2月28日(火) 青少年センター	「魅せるチラシデザイン」明日から使えるチラシづくりのコツ 講師：さいたまNPOセンター理事 大工原 潤 氏	28人

f 子ども施設の指導員セミナー

テーマ「目からウロコ！ 子どもイキイキ 遊びの仕掛け人」

回数	期日/場所	主な内容/講師	参加人数
1	6月22日(水) 茅ヶ崎市役所	遊びの体験、ミニレクチャー、ワールドカフェ形式での対話 講師：NPO法人体験学習研究会 代表理事 山路 歩 氏	31人
2	11月16日(水) 伊勢原市 青少年センター		42人

テーマ「「困った子」から「困っている子」へ”気になるあの子”が輝くヒント」

回数	期日/場所	主な内容/講師	参加人数
1	7月5日(火) 横須賀市役所	気になる子の理解と対応についての講義、グループワーク 講師：県立瀬谷養護学校 連携支援グループリーダー 原 美江 氏	44人
2	1月20日(金) 小田原合同庁舎		45人

テーマ「身近なもので「不思議！」がいっぱい おもしろ科学工作」

回数	期日/場所	主な内容/講師	参加人数
1	9月9日(金) 青少年センター	身近な材料で作る科学工作の紹介、製作、作品を使った遊びの体験 講師：青少年センター職員	58人
2	10月13日(木) 厚木シティプラザ		59人

g 子どもに関わる若者のボランティアセミナー

回数	期日/場所	主な内容/講師	参加人数
1	10月8日(土) 青少年センター	実習 イベント体験 実習 体験ブースの企画 講義 「ボランティアとは」 実習 体験ブースのコンセプトの検討 担当：青少年センター職員	5人
2	11月12日(土) 青少年センター	実習 イベントの企画 実習 イベントの企画の発表 実習 リハーサル 担当：青少年センター職員	3人
3	12月10日(土) 青少年センター	実習 体験ブースの企画 実習 体験ブースの企画発表 実習 体験ブースのリハーサル 担当：青少年センター職員	5人
4	1月21日(土) 青少年センター	実習 体験ブースの準備 実習 体験ブースのリハーサル 担当：青少年センター職員	8人
5	1月22日(日) 青少年センター	実習 体験ブースの実施(運営) 実習 ふりかえり 担当：青少年センター職員	17人

#### h 子どもキャンプ企画・体験セミナー

回数	期日/場所	主な内容/講師	参加人数
1	6月4日(土)～5日(日) 厚木市七沢自然 ふれあいセンター	プレキャンプ(1泊2日) 子どもは参加せず。 1日目 仲間作り、七沢クエスト、ボンファイヤー 2日目 野外炊事、ワークショップ(ねらい決め) 担当:青少年センター職員	9人
2	7月3日(日) 青少年センター	企画会議 「プログラム決め」 担当:青少年センター職員	7人
3	7月24日(日) 青少年センター	企画会議「プログラムの詳細決定」 担当:青少年センター職員	8人
4	8月21日(日) 青少年センター	企画会議「リハーサル」 担当:青少年センター職員	9人
5	9月17日(土)～ 19日(月) 厚木市七沢自然 ふれあいセンター	イベント「七沢ぼうけんキャンプ」 担当:青少年センター職員	13人

予定していた第6回は、参加状況等により中止とした。

#### i 子どもフェスティバル企画・体験セミナー

回数	期日/場所	主な内容/講師	参加人数
1	10月1日(土)～ 2日(日) 厚木市七沢自然 ふれあいセンター	1日目 実習「アイスブレイキング」 実習「コミュニケーションスポーツ～カップ～」 会議「各自の役割分担決定」 実習「火起こしバトルと野外炊事」レク「交流会」 2日目 レク「朝の集い」 会議「企画内容検討」 担当:青少年センター職員	9人
2	11月13日(日) 青少年センター	アイスブレイキング 子どもフェスティバルに向けての話し合い 担当:青少年センター職員	10人
3	12月11日(日) 青少年センター		15人
4	1月8日(日) 青少年センター	話し合い、リハーサル、台本確認 リハーサル、演技指導 担当:青少年センター職員	13人
5	1月21日(土) 青少年センター	第5回:リハーサル、最終確認 バルーンアートの装飾 講師:スマイルアース 小菅 利憲 氏 担当:青少年センター職員	21人
6	1月22日(日) 青少年センター	第6回:子ども会大会の運営 体験ブース(バルーンアート)の実施 担当:青少年センター職員	27人

(イ) 青少年育成のための実践的調査研究

a 活動に役に立つマニュアル・手引作成

子ども達と一緒に楽しみながら活動できるアクティビティ集

『あそびなま』“ やってみる ” から “ はじまる ” “ つながる ” の発行

内 容 : 青少年の体験活動を支援する大人向け、初心者向けの冊子

発行部数 : 1,500部(3月発行)

配布先 : 神奈川県青少年指導者養成協議会会員、青少年活動に携わっている方  
(青少年団体、青少年支援・指導者、教員、学生等)

配布先 : 神奈川県青少年指導者養成協議会会員、青少年活動に携わっている方  
(青少年団体、青少年支援・指導者、教員、学生等)

(ウ) 青少年育成のための啓発

a 青少年問題フォーラム

回数	期日/場所	主な内容/講師	参加人数
1	12月23日(祝・金) 青少年センター	講演:「つながりの中で人は育つ こども食堂の名づけ親が語る大切なこと」 講師:「気まぐれ八百屋 だんだん」店主 近藤 博子 氏	70人

(I) 青少年支援・指導者、団体等への支援

a 青少年資料室の運営

青少年関係資料の整理・収集をし、青少年資料室にて提供した。

b 調査・アンケート実施

研修終了時に参加者を対象にアンケートを行い、その結果を含め事業を評価し、事業改善につなげるとともに、参加者の事後アンケート調査や取材調査により、研修後の活用についてまとめ、研修事業実施報告書により青少年関係機関へ提供した。

c 活動支援

場の提供、講師・指導者の紹介・派遣、プログラム紹介・指導(随時)

講師紹介等6件、講師派遣13人

(オ) 青少年指導者養成推進事業

a 青少年指導者養成連携・調整(神奈川県青少年指導者養成協議会事業)

(a)総会

回数	期日/場所	主な内容/講師	参加人数
1	5月12日(木) 青少年センター	県・市町村・青少年関係団体等の青少年支援・指導者育成事業について 平成27年度青少年支援・指導者育成事業実施結果について 平成28年度青少年指導者養成協議会事業計画(案)について 講演『子ども若者のリアルをどうとらえるか』 講師 横浜市立大学名誉教授 中西 新太郎 氏	29人

(b) 常任委員会

回数	期日 / 場所	主な内容	参加人数
1	4月15日(金) 青少年センター	平成28年度総会について 平成28年度専門部会について 総会後の講演について その他	13人
2	10月18日(火) 青少年センター	平成28年度専門部会について 平成28年度青少年指導者養成協議会事業中間報告について その他	10人
3	2月8日(水) 青少年センター	平成28年度専門部会について 平成28年青少年指導者養成協議会事業中間報告について その他、情報交換	12人

(c) 専門部会

回数	期日 / 場所	主な内容	参加人数
1	7月13日(水) 青少年センター	専門部会の目的・運営 専門部会作成の冊子について 専門部会委員の役割分担	7人
2	9月28日(水) 青少年センター	冊子の構成・内容について	7人
3	10月22日(土) 青少年センター	原稿に使用する写真撮影 冊子の構成・内容について	6人
4	12月8日(木) 青少年センター	原稿に使用する写真撮影 冊子の構成・内容について 表紙のイラストについて	7人

専門部会委員

國武 恵 氏 (日本学校グループワーク・トレーニング研究会)

島田 賢一 氏 (株式会社パンダイナムコエンターテインメント)

藤樫 亮二 氏 (矢切幼稚園)

(d) 青少年支援・指導者育成事業担当者会議

回数	期日/場所	主な内容/講師	参加人数
1	4月20日(水) 厚木シティプラザ	平成27年度事業実施結果及び平成27年度事業実施計画について 平成28年度研修実施報告書について 専門部会研究紹介DVD「笑顔があふれるアイスプレイキング」の活用について 「かながわ青少年支援・指導者育成指針」について 情報交換	10人
	4月22日(金) 小田原合同庁舎		13人
	4月26日(火) 平塚合同庁舎		13人
	4月28日(木) 青少年センター		12人
2	11月25日(金) 青少年センター	講演 「中高生の居場所を作るにあたって」 講師：東京都板橋区立大原生涯学習センター社会教育指導員 大山 宏 氏  (2)情報交換会(前半、後半) 青少年指導員について 事業の企画・運営について ジュニア・リーダーについて その他	26人

b 青少年支援・指導者活動状況、青少年支援・指導者育成事業実施結果及び計画の調査

(a) 青少年支援・指導者活動状況の調査

県、市区町村、青少年関係団体等が把握している青少年支援・指導者の活動状況を調査した。(調査：平成28年9月)

(b) 青少年支援・指導者育成事業実施結果及び計画の調査

県、市区町村、青少年関係団体等が把握している青少年支援・指導者育成事業について、平成28年度の実施結果と平成29年度の事業計画を調査した。(調査：平成29年3月)

イ 地域活動推進事業

(ア) 子ども会大会「青少年センター子どもフェスティバル」

県内の子ども会相互の交流と連帯を進め、これからの子ども会活動の発展と充実を図った。

日 時：平成29年1月22日（日）

会 場：青少年センターホール

参加者：1,389人(子ども会及びブース出展関係者等含む)

(イ) 元気な子ども・若者の地域活動調査事業

「子ども会情報誌の取材活動」

回数	期日 / 場所	主な内容 / 講師	参加人数
1	8月4日(木) 横浜市野島青少年 研修センター	県子連機関誌「子ども会」発行のための内容検討、構成、取材 記事の執筆	2人
2	8月20日(土) 川崎区渡田新町 1,2丁目町内会館	県子連機関誌「子ども会」発行のための内容検討、構成、取材 記事の執筆	2人
3	9月3日(土) 大和市 青少年センター	県子連機関誌「子ども会」発行のための内容検討、構成、取材 記事の執筆	1人

「かながわ子ども会活動発表会」

回数	期日 / 場所	主な内容 / 講師	参加人数
1	3月12日(日) 青少年センター	<p>青少年センターが作成した元気な子ども・若者の地域活動情報誌 「子ども会」を利用した情報交換会</p> <p>活動発表</p> <p>「子ども会カルタ大会の活動について」 大和市子ども会育成団体連絡協議会 会長 小川 陽子 氏 大和市ジュニア・リーダーズクラブありんこ 横森 皇陽 さん</p> <p>「子ども会キャンプの活動について」 横浜市緑区中山町子ども会育成会 会長 酒井 利夫 氏</p> <p>「子ども会カレーパーティー・お化け大会について」 川崎市川崎区ジュニアリーダー養成委員長 吉永 康弘 氏 川崎区ジュニア・リーダーズクラブくじら 藤井 和樹 さん 高橋 柚香 さん</p> <p>ワークショップ</p> <p>「地域で魅力ある活動を展開するためには」 担当：青少年センター職員</p>	24人

(ウ) 青少年育成のための実践的調査研究

地域活性化事業（市町村・団体協働事業）

a 伊勢原市子ども会指導者研修会

伊勢原市青少年課より依頼があり、研修内容は指導者育成課で企画・立案した。

回数	期日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	7月16日(土) 伊勢原市 青少年センター	「元気に！楽しく！子ども会活動2016, Summer ～グループで楽しくワークショップしましょう～」 アイスブレイキング、ワークショップ講座 担当：青少年センター職員	55人
2	3月5日(日) 伊勢原市 青少年センター	「元気に！楽しく！子ども会活動2017」 アイスブレイキング、危険予知トレーニング講座 担当：青少年センター職員	65人

b 相模原市青少年指導員研修会

相模原市子ども青少年課より依頼があり、研修内容は指導者育成課で企画・立案した。

回数	期日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	11月10日(木) 相模原市青少年 学習センター	アイスブレイキング、イニシアティブゲーム講座 担当：青少年センター職員	20人
2	12月1日(木) 相模原市青少年 学習センター	アイスブレイキング、イニシアティブゲーム講座 担当：青少年センター職員	19人

ウ 青少年関係団体育成事業

青少年課に事業を移管。

エ 青少年育成県民運動推進事業

(ア) 「中学生の主張 in かながわ」

中学生が日頃抱いている思い、感銘を受けたことなどの意見をまとめた作文を募集し、優秀作品を発表する発表会を開催した。

日 時：平成28年9月25日（日）

会 場：青少年センター多目的プラザ

応募者数：798人

発表者数：7人

(3) 青少年のひきこもり、不登校や非行等への対応

不登校・ひきこもり・非行などで悩む子ども・若者についての相談、そのような子ども・若者を地域で様々な形でサポートするNPO等への支援、青少年の自立支援、フリースペース等を運営するNPOが実施する相談活動に対する補助、さらに講演会やセミナーを通じて子ども・若者が抱える問題への理解を啓発するなどの事業を行った。

区分	事業名	概要	対象者	参加者数
ア かながわ子ども・若者総合相談事業				
	かながわ子ども・若者総合相談センターの運営	子ども・若者育成支援推進法に基づく「かながわ子ども・若者総合相談センター（ひきこもり地域支援センター）」を運営する。	県民	延4,534件 電話・来所相談
	相談員研修	地域において子ども・若者の相談支援を行う相談員を対象に相談技術の向上等のための研修を実施する。	教員・相談機関職員・行政職員・NPO等職員	延138人
	子ども・若者を理解するための講演会	子ども・若者が直面する問題への理解を深め、地域や関係機関における取り組み促進を図るための講演会を開催する。	県民	70人
イ 青少年相談等支援事業				
(ア)不登校・ひきこもり等相談関係事業	相談窓口(ひきこもり地域支援センター)の運営	ひきこもり、不登校、非行等の相談窓口（電話・面接）を（上記アのセンターとして）開設し、青少年や家族等からの相談に応じる。また、必要に応じて自立支援にも対応する。	県民	延4,534件 電話・来所相談
	相談ケース検討・打合せ	複雑、困難な相談ケースについて、医師等の専門職を加えた検討会を行い対応する。	子ども・若者総合相談専門相談員・NPO法人等の相談担当者等	延49人
	地域相談事業（県西部青少年サポート相談室・神奈川地域青少年サポート相談室）	NPOと協働で県西部地域及びその他県域に相談窓口（電話・面接）を開設し、青少年や家族等からの相談に応じる。	県民	延680件 電話・来所相談
	地域青少年支援フォーラム・個別相談会	ひきこもりをテーマに経験者・家族・支援者等を招いたフォーラムを開催。あわせて個別相談会を開催する。	ひきこもりに悩む家族および当事者	延118人
	地域相談会	市町村の協力を得て、地域に出向き個別相談会（面接）を開催する。	県民	延6人

区分	事業名	概要	対象者	参加者数
	相談機関紹介カード作成・発行	県内の全小学生・中学生・高校生等にかながわ子ども・若者総合相談センターや総合教育センター、児童相談所等の相談窓口の電話番号等を掲載したカードを配布する。	県内の小・中・高校に在籍する児童・生徒等	1,025,000枚（発行枚数）
	ひきこもり支援マップの作成・発行	ひきこもりの当事者や家族の支援を行う機関や団体に関する情報をわかりやすくまとめたリーフレットを作成し、その利用を進める。	ひきこもりに悩む当事者やその家族	5,000部（発行部数）
	ひきこもり相談補助員養成事業	ひきこもり経験を有する若者が、一定の研修を受講し、専門相談員の助言・指導のもとに、ひきこもりに悩む家族等の相談を補助する。	NPO団体の推薦を受けた若者	10人
	ひきこもり理解のための行政職員研修	ひきこもりサポーター養成派遣にむけて、行政職員を対象にひきこもり支援の基礎的研修をおこなう。	市町村行政職員	6人
(イ)不登校・ひきこもり等NPO支援事業及び運営支援情報の提供	NPOの活動に必要な場や機器の提供（NPO支援スペース）	ひきこもり、不登校、非行等で悩む青少年や家族のサポートに取り組むNPOや親の会が、打合せや活動等に利用できる場、軽印刷機・紙折り機等を利用できる場を提供する。	利用登録をした県内NPO等団体	延985団体 延5,252人
	NPO運営支援情報の提供	NPO相談・支援アドバイザーを配置し、NPOの立ち上げ、組織の運営や財務等に関する情報提供や相談を行う。	県民	-
	NPOスタッフ研修会	NPOの日常活動や組織運営に必要な知識や技能を学び、日ごろの対応や悩み等を話し合える研修会を開催する。	NPOスタッフ・ボランティア等	18人
	不登校・ひきこもりの子ども・若者を支援するボランティア研修	NPOを支えるボランティアを養成するとともに、ボランティア活動に関する情報の提供や活動先への橋渡しを行う。	18～30歳。フリースペース等での活動に興味がある者。	延40人
	ひきこもり地域理解促進事業	ひきこもり問題に取り組む団体の発展を促すため、または地域住民への理解・啓発を促すために、地域団体が自主的に取り組む研修会や講演会等を支援する。	県内NPO等支援団体	延15団体
	(ウ)不登校・ひきこもり等啓発事業	ひきこもりを考える講演会・家族セミナー	ひきこもり当事者の家族支援として、地域関係機関と協働で講演会、セミナー等を開催する。	ひきこもりに関心のある県民
	ひきこもり問題啓発パンフレット等の配布	ひきこもり問題の正しい理解に向けたパンフレットや①相談窓口の紹介リーフレット、②フリースペース・親の会等民間支援団体の情報マップを配布する。	小学・中学・高校、相談機関窓口等	①20,000枚 ②5,000枚（発行枚数）

区分	事業名	概要	対象者	参加者数
	関連情報の提供	ひきこもり、不登校・非行等に悩む方々やそうした方々をサポートする活動を行うNPO等に、相談やNPOの活動状況等の情報を相談窓口、情報コーナー、ホームページ等で紹介、提供する。	県民、NPO等団体	
ウ ひきこもり等青少年自立支援事業				
	コミュニケーション・人間関係講座	コミュニケーションや対人関係に悩みを持つ青少年を対象に、ひきこもり予防を含めた広い意味での自立支援を目的とした「コミュニケーション・人間関係講座」を、ひきこもり等青少年支援に取り組む民間支援団体と協働して実施する。	39歳までの県内在住・在学・在勤者	延390人
エ フリースペース等事業費補助				
	フリースペース等事業費補助	地域でひきこもり、不登校等に関する相談を受けるNPO等の活動を支援する。	フリースペース等を運営するNPO等団体	11団体

各事業の内容は次のとおりである。

ア かながわ子ども・若者総合相談事業

a かながわ子ども・若者総合相談センターの運営

青少年センター及びNPOと協働で開設した県西部青少年サポート相談室において、子どもや若者が抱える様々な悩みについて相談に応じた。

b 相談員研修

地域において子ども・若者への相談支援を行う公的機関職員及び民間団体スタッフを対象に、相談技術の向上と子ども・若者にかかる問題の理解に焦点をあてた研修を実施した。

期日 / 場所	主な内容 / 講師	参加人数
5月26日(木) 青少年センター 研修室1	テーマ 「相談入門～その進め方と見立て」 臨床心理士 辻 隆造	50人
8月2日(火) 青少年センター 研修室1	テーマ 「相談支援で役立つ知識 ～解決志向アプローチを身につける」 神奈川大学人間科学部教授 杉山 崇	54人
8月25日(木) 青少年センター 研修室1	テーマ 「ネット・ゲームに依存する若者への対応 ～支援者としてできること」 国立久里浜医療センター主任心理療法士 三原 聡子	34人

c 子ども・若者を理解するための講演会

子ども・若者が抱える悩みや背景をテーマに、講演会等を開催した。

期日 / 場所	主な内容 / 講師	参加人数
11月27日(日) 青少年センター 研修室1	増える若者の孤立無業者～彼らを支えるためにできること～ 東京大学社会科学研究所教授 玄田 有史	70人

イ 青少年相談等支援事業

(ア) 不登校・ひきこもり等相談関係事業

a 相談窓口（ひきこもり地域支援センター）の運営

かながわ子ども・若者総合相談センターとひきこもり地域支援センターを一体として運営し、ひきこもり、不登校等の悩みを抱えた青少年やご家族の相談に応じた。

電話相談：延べ3,250件

相談者の続柄

	本所	西部	地域	計	%
本人	912	192	5	1,109	34.1%
父	149	28	16	193	5.9%
母	1,467	214	11	1,701	52.3%
その他親族	96	22	0	118	3.6%
知人	13	4	0	17	0.5%
関係機関	39	22	5	66	2.0%
その他	18	1	0	19	0.6%
不明	17	9	1	27	0.8%
計	2,720	492	38	3,250	

相談の内容

	本所	西部	地域	計	%
ひきこもり	252	104	22	378	11.6%
不登校	217	107	6	330	10.2%
非行	24	11	0	35	1.1%
精神保健	194	7	0	201	6.2%
仕事関係	225	17	4	246	7.6%
学校関係	339	30	1	370	11.4%
対人関係	344	6	0	350	10.8%
家庭問題	523	21	0	544	16.7%
発達障害等	59	132	1	192	5.9%
児童福祉	5	1	0	6	0.2%
犯罪被害	5	0	0	5	0.2%
健康問題	31	4	0	35	1.1%
生活問題	293	22	0	315	9.7%
その他	209	30	4	243	7.5%
計	2,720	492	38	3250	

相談対象者の内訳

	本所	西部	地域	計	%
未就学児	5	2	0	7	0.2%
小学生	90	22	0	112	3.4%
中学生	177	60	3	240	7.4%
高校生	402	52	8	462	14.2%
専門学校生	325	0	0	325	10.0%
大学生	192	36	1	229	7.0%
有職	472	28	8	508	15.6%
無職	920	221	17	1,158	35.6%
その他	26	22	0	48	1.5%
不明	111	49	1	161	5.0%
計	2,720	492	38	3,250	

面接相談：実258件（延べ1,284件、うち県西部青少年サポート相談室88件、  
神奈川地域青少年サポート相談室62件）

相談者の続柄

	本所	西部	地域	計	%
本人	53	11	11	75	29.1%
父	11	6	5	22	8.5%
母	65	38	16	119	46.1%
父母	22	7	2	31	12.0%
その他親族	5	5	1	11	4.3%
計	156	67	35	258	

相談の内容

	本所	西部	地域	計	%
ひきこもり	48	20	18	86	33.3%
不登校	34	25	8	67	26.0%
非行	4	2	1	7	2.7%
精神保健	8	0	0	8	3.1%
仕事関係	18	6	3	27	10.5%
学校関係	13	8	2	23	8.9%
対人関係	8	1	1	10	3.9%
家庭問題	15	2	0	17	6.6%
発達障害等	3	0	1	4	1.6%
児童福祉	0	0	0	0	0.0%
犯罪被害	0	0	0	0	0.0%
健康問題	0	0	0	0	0.0%
生活問題	3	0	0	3	1.2%
その他	2	3	1	6	2.3%
計	156	67	35	258	

相談対象者の内訳

	本所	西部	地域	計	%
未就学児	0	0	0	0	0.0%
小学生	6	6	0	12	4.7%
中学生	18	15	5	38	14.7%
高校生	23	15	1	39	15.1%
専門学校生	2	0	0	2	0.8%
大学生	24	5	3	32	12.4%
有職	11	4	1	16	6.2%
無職	72	22	25	119	46.1%
計	156	67	35	258	

b 相談ケースの検討・打ち合わせ

相談事例の共有と適切な支援方法を検討するために、週に1回定例の検討会に加え、精神科医師等より毎月助言を受けた。

c 地域相談事業（県西部青少年サポート相談室、神奈川地域青少年サポート相談室）

県西部における相談の利便性を確保するため、NPOと協働して小田原市内に県西部青少年サポート相談室を開設した。

平成28年度から、秦野市内に神奈川地域青少年サポート相談室を新設した。

d 地域青少年支援フォーラム・個別相談会

地域におけるひきこもり問題への理解促進と相談へのきっかけの場としてフォーラムと個別相談会をあわせて実施した。

回数	期日 / 場所	主な内容 / 講師	参加人数
1	11月22日(火) 秦野市保健 福祉センター	第1部 フォーラム 「ひきこもり」のことを理解していますか？ 講師 NPO法人子どもと生活文化協会理事 和田 正宏 ひきこもり体験者の家族 ひきこもり体験者(青少年センター ひきこもり相談補助員) 第2部 個別相談会・懇談会	30人  相談11件 延べ13件 相談延べ数 15人
2	12月8日(木) 茅ヶ崎市 青少年会館	第1部 フォーラム 「ひきこもり」のことを理解していますか？ 講師 NPO法人遊悠楽舎 明石紀久男 ひきこもり者家族 ひきこもり体験者(青少年センター ひきこもり相談補助員) 第2部 個別相談会・懇談会	59人  相談15件 延べ16件 相談延べ数 17人

e 地域相談会

回数	期日 / 場所	主な内容	参加人数
1	8月19日(金) 山北町生涯 学習センター	ひきこもり	1件
2	8月26日(金) 清川村生涯 学習センター	なし	0件
3	9月2日(金) 真鶴町町民 センター	ひきこもり	1件
4	9月30日(金) 葉山町教育 総合センター	ひきこもり、就労の悩み	4件

f 相談機関紹介カード作成・発行

県内の全小学生・中学生・高校生等に相談や支援に係る情報提供を行った。

発行部数：1,025,000部

g ひきこもり支援マップの作成・発行

県内でひきこもりに悩む青少年やその家族に対し、支援活動を行う機関や団体の利用を促すため情報提供を行った。

発行時期 平成29年3月

発行部数 5,000部

#### h ひきこもり相談補助員養成事業

かながわ子ども・若者総合相談センターのNPO相談・支援アドバイザーの所属する団体より推薦を受けた10名の候補者に対し養成研修を実施し、青少年センターひきこもり相談補助員として地域での啓発事業での活動や面接相談における相談補助活動に参加した。

##### ・養成研修及びふりかえり

回数	期日/場所	主な内容・講師	参加人数
1	8月5日(金) 青少年センター	講義及びグループワーク 「語ること・聴くこと～体験者として、支援者として大切にしたいこと～」 講師 白梅学園大学教授 長谷川俊雄	8人
2	1月17日(火) 青少年センター	事業のふりかえり、今後の課題の共有	7人

##### ・地域啓発事業派遣等

ひきこもりの家族を抱える家族を対象に、不登校・ひきこもりの体験談を講演や懇談会で語った。

回数	期日/場所	主な内容等	参加人数
1	6月11日(土) 青少年センター	ひきこもりを考える講演会	3人
2	7月28日(木) 藤沢市保健所	湘南地区ひきこもりを考える家族セミナー	2人
3	11月8日(火) 綾瀬市役所	綾瀬地区ひきこもりを考える家族セミナー	2人
4	11月22日(火) 秦野市保健福祉センター	地域青少年支援フォーラム・個別相談会(秦野市)	4人
5	12月8日(木) 茅ヶ崎市青少年会館	地域青少年支援フォーラム・個別相談会(茅ヶ崎市)	4人
6	2月19日(日) 青少年センター	青少年センターひきこもり相談補助員事業 「公開ディスカッション」	7人

##### ・相談補助

相談者の希望に応じて、相談員、NPO相談・支援アドバイザー同席のもと面接相談に入り、自身の体験など相談者に伝えた。ひきこもりに対して家族が理解を深め、対応について考えるための一助となった。

実件数 3件

i ひきこもりサポーター養成事業

ひきこもりサポーター養成派遣にむけて、市町村の行政職員を対象にひきこもり支援の基礎的研修をおこなった。

回数	期日 / 場所	主な内容 / 講師	参加人数
1	8月26日(金) よこはま西部 コースプラザ	講演 「ひきこもりの理解と対応」 講師 岡本 圭太 (NPO法人ユースポート横濱・よこはま若者サポート ステーション相談員) 講演 「必要とされる支援について」 講師 池田 正則 (NPO法人リロード事務局長・ よこはま西部コースプラザ施設長) 施設見学	6人

(イ) 不登校・ひきこもり等NPO支援事業及び運営支援情報の提供

a NPOの活動に必要な場や機器の提供(NPO支援スペース)

会合や諸活動等に利用できる「活動室」、予約なしで打ち合わせ等が行える「オープンスペース」、軽印刷機や紙折り機等が使用できる「ワーキングコーナー」や関係情報を閲覧できる「情報コーナー」等を提供した。

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで実質306日間)

	活動室	交流サロン・ オープン活動室	ワーキング コーナー	情報コーナー・ オープンスペース	研修室	計
団体数	536	119	271	37	22	985団体
人数	3,592	633	307	169	551	5,252人

b NPOスタッフ研修会

不登校・ひきこもり等の青少年を支援するNPO等で活動するスタッフやボランティアが活動に役立つ知識や技能を修得する機会として研修会を開催した。

期日 / 場所	主な内容 / 講師	参加人数
11月13日(日) 青少年センター 研修室2	午前の部 「傾聴ワークショップ」 講師 高橋 浩介 (臨床心理士) 午後の部 「アイスプレイング講習」 講師 川手 隆生 (指導者育成課長)	18人

c 不登校・ひきこもりの子ども・若者を支援するボランティア研修

不登校・ひきこもり等、青少年の心の問題を支援する若いボランティアの育成のため研修を実施した。

回数	期日 / 場所	主な内容 / 講師	参加人数
事前研修	7月16日(土) 青少年センター 研修室2	講演「支援現場の実際」 講師 中村 美緒(NPO法人楠の木学園) 池田 正則(NPO法人リロード) 中村 鳴美(NPO法人フリースクール鈴蘭学園) NPO活動の説明 研修協力民間団体による活動内容等の紹介 懇談と研修先の決定 団体スタッフ等と参加者による研修日程調整	13人
事前研修	8月9日(火) 青少年センター 研修室2	講演「ひきこもり当事者の理解と付き合い方」 講師 大多和 二郎(臨床心理士) NPO活動の説明 研修協力民間団体による活動内容等の紹介 懇談と研修先の決定 団体スタッフ等と参加者による研修日程調整	15人
3	10月1日(土) 青少年サポートプラザ NPO活動室1	ふりかえり	12人

事前研修終了後から9月30日までの間に、各支援団体でのボランティア活動を体験

\* ボランティア研修協力団体

- ・リロード(横浜市)
- ・フリースクール鈴蘭学園(相模原市)
- ・月一の会(横浜市)
- ・フレンドリースペース金沢(横浜市)
- ・フリースペースたまりば(川崎市)
- ・楠の木学園(横浜市)

d ひきこもり地域理解促進事業

ひきこもり、不登校等に悩む子ども・若者を地域で支える団体の活性化や地域におけるひきこもり問題への理解を促進するため、団体が開催する講座等を青少年センターが共催し、併せて講師等の謝金を負担して、団体活動を支援した。

事業趣旨(事業区分)	実施団体数	参加延人数
ひきこもり青少年親の会等地域団体活動促進	12 団体	240 人
ひきこもり地域支援団体活動促進	2 団体	157 人
ひきこもり地域支援団体大学連携	1 団体	12 人

(ウ) 不登校・ひきこもり等啓発事業

a ひきこもりを考える家族講座・家族セミナー

(a) ひきこもりを考える講演会

医師、体験者及び支援者の講話からひきこもりへの理解を深めるため、ひきこもりを考える講演会を青少年センター内で開催した。

期日 / 場所	主な内容 / 講師	参加人数
6月11日(金) 青少年センター	第1部 講演「社会的ひきこもりとは」 講師 精神科医師 斉藤 環 第2部 フォーラム「体験者の持つ力」 講師 NPO法人遊悠楽舎代表 明石 紀久男 ひきこもり体験者(青少年センター ひきこもり相談補助員)	家族等 93人

(b) ひきこもりを考える家族セミナー

県保健福祉事務所・県精神保健福祉センター・市町村等との協働により、ひきこもりに関する知識・情報を提供し、家族の焦燥感の軽減や、当事者への関わり方の変化を期待するため、家族セミナーを湘南地区・綾瀬地域でそれぞれ開催した。

・湘南地区(全3回)

回数	期日 / 場所	主な内容 / 講師	参加人数
1	7月12日(火) 藤沢市保健所	テーマ「ひきこもりと発達障害」 講師 県立こども医療センター時同思春期精神科医師 新井 卓	家族等 81人
2	7月19日(火) 藤沢市保健所	テーマ「親子のコミュニケーション」 講師 臨床心理士 川並 かおる	家族等 78人
3	7月28日(木) 藤沢市保健所	テーマ「不登校・ひきこもりの体験談」 講師 アンワインドスペース横浜代表 瀧口 佳孝 ひきこもり体験者(青少年センター ひきこもり相談補助員)	家族等 66人

・綾瀬地区(全3回)

回数	期日 / 場所	主な内容 / 講師	参加人数
1	10月18日(金) 綾瀬市役所	テーマ「ひきこもりの理解と対応 ～精神科とのつきあい方～」 講師 湘南病院精神科医師 大森 武	72人
2	10月26日(水) 綾瀬市役所	テーマ「ひきこもりの理解と支援 ～親に求められること～」 講師 白梅学園大学教授 長谷川 俊雄	70人
3	11月8日(火) 綾瀬市役所	テーマ「ひきこもり体験者の体験談」 講師 NPO法人遊悠楽舎代表 明石 紀久男 ひきこもり体験者(青少年センター ひきこもり相談補助員)	50人

b ひきこもり問題啓発パンフレット等の配布

ひきこもり地域支援フォーラム等の啓発事業に参加した家族等にひきこもり問題を解説したパンフレットや相談窓口案内のリーフレットを配布した。

c 関連情報の提供

青少年センターのホームページ等により、ひきこもりや不登校等の問題に取り組む県内NPOの情報や、ひきこもり等関連の講演会等の情報を提供した。

ウ ひきこもり等青少年自立支援事業

ひきこもりや不登校の青少年の問題の多くは、友人や家族等とのコミュニケーションや対人関係に課題がある場合が多く、また、同様の悩みを抱えつつも就労している青少年が数多く存在することは、早期離職者の状況等からも伺える。こうしたコミュニケーションや対人関係に悩みを持つ青少年を対象に、ひきこもり予防を含めた広い意味での自立支援を目的とした「コミュニケーション・人間関係講座」を、ひきこもり等青少年支援に取り組む民間支援団体と協働して実施した。

コミュニケーション・人間関係講座

講座名称 (実施団体)	実施日程 (各団体とも8回)	参加者 延数	主な内容
ワークショップとフォトラリーによるコミュニケーション講座 (ヤングコミュニティ)	9月17日～ 11月12日	44人	地域散策やコミュニケーションに関わるワークショップ、フォトラリー、映像作品の制作等、様々なワークや作業、発表を通して、コミュニケーションの能力の向上をはかり、人との交流への意欲を高める。
異世代間交流等をつうじたうたごえ コミュニケーションワーク (NPO法人月一の会)	9月17日～ 11月12日	68人	うたやゲームをツールとした、参加者全員が双方向で「つながる」形のワークショップ。コミュニケーション力の向上や人間関係づくりに有効な体験をする。また、異世代の方々とゆっくり交流する場として、ディスカッションや座談会、うたごえ交流会を開催し、自由な雰囲気の中で楽しくワークをおこなう。
青少年にむけてのコミュニケーション力UP講座 (NPO法人子どもと生活文化協会(CLCA))	9月14日～ 11月9日	234人	芸術、スポーツ、医療等さまざまな分野で活躍している講師を招き、手足を動かし、自ら動くことで、コミュニケーションには多様な方法があることを知り、それらを実践する。また、各講師の職業選択や、人生についての話を聞くことで、職業イメージをつかむ。
見て・感じて・楽しむ「ぜんしん流コミュニケーション講座」2016 (NPO法人ぜんしん)	11月30日～ 2月8日	30人	ゲーム・映像・パソコンなどを用いて、対人関係やコミュニケーションの問題を克服し、自信をつけていくワークショップ。簡単な共同作業、意見交換や発表を通して、楽しみながら自己表現スキルを培う。

講座名称 (実施団体)	実施日程 (各団体とも8回)	参加者 延数	主な内容
「楽しみながら考えて、見つけよう！」 ソーシャルプログラム (NPO法人リロード)	11月26日～ 2月18日	149人	グループ SST(ソーシャルスキルズトレーニング)で、人とのかかわりを通じて、社会的スキルを学ぶ。自分の考えを発信し、他人の意見に耳を傾けるという、双方に伝え合う場面での状況判断の練習を通じて、「不安」の軽減、「自信」の回復、「自己理解」「自己肯定感」の向上を目指す。

## エ フリースペース等事業費補助

フリースペース、フリースクール等を運営するNPO等が実施するひきこもり等青少年やその家族を対象とした相談活動に支援を行った。

補助対象団体数	11団体
---------	------

NPO法人くじらぐも  
 NPO法人教育支援協会(フリースペースみなみ)  
 NPO法人コロンブスアカデミー  
 フレンドリースペース金沢  
 NPO法人楠の木学園  
 NPO法人アーモンドコミュニティネットワーク  
 NPO法人教育活動総合サポートセンター  
 NPO法人フリースクール鈴蘭学園  
 NPO法人アンガージュマン・よこすか  
 NPO法人そだちサポートセンター  
 NPO法人くだかけ会

(4) 青少年の科学体験活動の促進支援

青少年センターおよび県内地域において、科学体験やものづくりの講座、科学体験イベント、作品展や研究発表等を実施し、科学活動普及・啓発に努めた。あわせて、科学技術系人材育成事業として、キャリアプログラム等による青少年の人材育成、科学体験指導者の育成や教員研修事業を実施した。科学情報発信事業として、ホームページ(インターネット科学館)での資料提供等を実施した。

参加者数はすべて述べ人数

区分	事業名	概要	対象者	参加者数
<b>ア 科学活動情報発信事業</b>				
	(ア)インターネット科学館	ホームページによる科学関係の情報を提供した。	一般	アクセス人数 24,704 件
	(イ)科学相談	科学に関する質問、研究の進め方、指導法等の相談、機材貸出に対応した。	高校生以上～ 一般	来室 21件 電話 2件
<b>イ 科学活動普及・啓発事業</b>				
(ア)青少年科学活動啓発事業	子どもサイエンスフェスティバル	科学の不思議や楽しさを実感できる実験や科学工作ブースによるイベントを、県内4ヶ所で開催した。	青少年 一般	2,272人
	青少年のための科学の祭典2016 神奈川大会	小学生・中学生向けに、科学の不思議さや楽しさを実感できる実験・科学工作によるブースによるイベントを開催した。	青少年 一般	892 人
	子ども科学講座	身近に起こる科学現象のしくみや性質を、体験しながら学ぶ講座を8回実施した。	小学生	122 人
	星空教室	月と惑星、星団等を天体望遠鏡を使用して観察する教室を、13回実施した。	小学3年生以上	688 人
	子ども科学探検隊	県内の科学館・研究施設・大学等において、科学の不思議・ものづくりの感動を体験・見学する講座を19回実施した。	小学4～6年生	292 人
	科学のひろば	神奈川工科大学の研究室による体験型イベントの開催を支援した。	青少年 一般	731 人
	科学講演会	青少年科学体験活動推進協議会総会等にあわせて、研究者等の講演会を2回実施した。	青少年 一般	61 人
	日本学生科学賞 神奈川県作品展	県内中学生・高校生の研究作品コンクールの神奈川大会を支援し、出展数153点で、作品展を6日間開催した。	青少年 一般	315 人
	横浜市中学校生徒科学作品展	横浜市立学校総合文化祭による理科部門の作品展開催を支援した。	青少年 一般	361 人
	県高校総合文化祭理科部研究発表大会	神奈川県高等学校文化連盟加盟の理科部による研究発表会の開催を支援した。	青少年 一般	136 人
県工業高校生徒研究発表大会	神奈川県立工業高等学校の生徒研究発表会の開催を支援した。	青少年 一般	350 人	

区分	事業名	概要	対象者	参加者数
(イ)青少年科学体験支援事業	移動科学教室	子ども科学講座として、おもしろ実験・科学工作教室を県内7ヶ所で開催した。	小学生	291人
	自然観察会	県内3ヶ所で、動植物や地形の自然観察方法を学ぶとともに、環境保護施設等の見学を実施した。	小学生 保護者	127人
	依頼団体科学教室	小学校や科学教室等21団体からの依頼により、子ども科学講座を県内各所で開催した。	青少年 一般	2,676人
ウ ものづくり子どもサイエンス事業				
	プチロボで競走しよう地区大会・県大会	走行型プチロボットを自作し、コースを走行させて競争する講座を、県内11ヶ所で開催した。上位者による県大会を実施した。	小学3～6年生	249人
	ロボットプログラム	自律型ロボットのプログラミングから機構について課題解決型で学習する講座を、初級・中級・上級に分けて実施した。	小学3年生～ 中学生	387人
	青少年のためのロボフェスタ2016	「さがみロボット産業特区」関連事業との位置づけで、企業・研究機関・大学・高校等がブースの出展によりロボットの楽しさを体験してもらう祭典を、神奈川総合産業高等学校を会場として2日間開催した。	青少年 一般	3,324人
	ものづくり体験教室	身近な材料を使用してのものづくりを体験することにより、科学現象の原理について学ぶ講座を、7回実施した。	小学生	154人
エ 科学技術系人材育成事業				
(ア)課題探求型科学体験教室	小学生科学研究クラブ	自分でテーマを決めて研究し、発表までを行うクラブを1講座5回開催し、研究方法や発表の指導・支援を行った。	小学4～6年生	延べ43人 修了証7人
	中高生サイエンスキャリアプログラム	県内科学館・大学・研究施設を訪問し、施設見学や研究者・技術者との交流を通して、科学への関心を高め技術者・研究者としての職業観を育成する講座を16回実施した。	中学生 高校生	延べ 187人
	高校生天文講座	施設見学も交えて、天体観測の基礎から最新観測法までを学ぶ講座を1講座11回実施した。	高校生	延べ78人 修了証7人
	高校生ロボットスタッフ	プチロボ競技大会、ロボットプログラム講座等ロボット関係講座のアシスタントスタッフとして参加する生徒募集を行った。高校生ボランティアとして参加する事業と重複するため、高校生科学ボランティアと併せて運用した。	高校生	7人登録 22事業
	高校生科学ボランティア	青少年センター科学体験事業にボランティアスタッフとして参加する生徒募集を行った。開講式と活動時間証明書の発行も行った。	高校生	23人登録 30事業

区分	事業名	概要	対象者	参加者数
(1)科学体験 指導者育成	おもしろ実験・ 科学工作指導者 セミナー	子どもたちに科学実験・科学工作を指導できる 指導者を育成するため、7日間の講座を2コー ス開催した。	一般	延べ78人 修了証10人
	天文研究クラブ	高校生天文講座の修了者や一般の方を対象に、 天体写真や画像処理についての講座を6回実施 した。	高校生以上～ 一般	延べ30人
オ 理科教育人材育成事業				
	教員研修講座	総合教育センターとの連携により、小・中・特 別支援学校教員を対象に、3講座を実施した。	教職員	34人
	依頼型教員研修 講座	市町村教育委員会からの依頼により、4講座を 実施した。	教職員	68人
	小学校教員養成 課程学生対象講 座	小学校教員養成課程を持つ大学との連携事業と して、理科実験に関する講座を2講座開講し た。	大学生	39人

各事業の内容は次のとおりである。

ア 科学活動情報発信事業

青少年の科学活動を促進、支援するための科学情報を提供した。

(ア) インターネット科学館

科学支援課の事業広報とあわせて、神奈川県青少年科学体験活動推進協議会との連携により得た科学関係の催し物の情報や、天文関係の資料等をホームページで提供した。

ホームページアクセス人数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
2,151	2,143	2,858	3,418	2,898	1,523	24,704
10月	11月	12月	1月	2月	3月	(H27年度)
1,530	2,425	1,214	1,536	1,509	1,499	(32,580)

(イ) 科学相談

科学に関する質問、研究の進め方、指導法等の相談を受け付けた。また科学体験機材の貸出や科学体験室を活用した研究等を支援した。

方法等	主な内容	件数
電話相談	気象、天候、宇宙、地学関係等	2件2名
機材貸出	ロボット教材、展示物	13件13名
体験室利用	実験コンテンツの作成支援	8件56名

イ 科学活動普及・啓発事業

青少年の科学に対する興味・関心を喚起するため、イベント系啓発事業や体験講座を企画・運営・実施した。また、青少年による作品展や研究発表会を支援した。

(ア) 青少年科学活動啓発事業

a 子どもサイエンスフェスティバル（主催：子どもサイエンスフェスティバル実行委員会）

回数	月 日	会 場		参加人数
1	12月17日(土)	逗子	逗子市体験学習施設スマイル	369 人
2	1月14日(土)	相模原	相模原市立青少年学習センター	582 人
3	2月11日(土・祝)	藤沢	県立総合教育センター亀井野庁舎	614 人
4	2月25日(土)	秦野	秦野市立はだのこども館	707人

b 青少年のための科学の祭典2016 神奈川大会（共催：神奈川県青少年科学体験活動推進協議会）

月 日	参加人数	内 容
8月7日(日)	892 人 (内、青少年 430 人)	企業、博物館関係者、中学校、高等学校、NPO団体等のブース出展 26 団体による、科学実験、科学工作、展示、実験ショーを実施した。

c 子ども科学講座（定員各20名）

回数	月 日	内 容	参加人数
1	8月11日(木)	顕微鏡で観察しよう	18 人
2	9月22日(祝木)	どんぐりのふしぎ	10 人
3	10月15日(土)	ほねの科学	23 人
4	10月15日(土)	月の観察	9 人
5	12月4日(日)	音のふしぎ	20 人
6	12月23日(祝金)	光のふしぎ	13 人
7	1月8日(日)	磁石のふしぎ	20 人
8	1月29日(日)	電気のふしぎ	9 人

d 星空教室（定員各50名・100名）

回数	月 日	内 容	参加人数
1	4月16日(土)	月齢9の月と木星、水星	55 人
2	5月14日(土)	月齢8の月と木星	52 人
3	6月11日(土)	月齢6の月と火星、木星	100 人
4	7月10日(日)	月齢6の月と土星	56 人
5	8月10日(土)	月齢8の月と5惑星	49 人
6	8月17日(水)	月齢14の月と土星・七夕の星	45 人
7	9月10日(土)	月齢9の月と夏の星	69 人
8	10月 8日(土)	月齢7の月と海王星	36 人
9	11月12日(土)	月齢13の月と天王星	42 人
10	12月10日(土)	月齢11の月と金星	39 人
11	1月 7日(土)	月齢9の月とすばる、金星	32 人
12	2月 4日(土)	上弦の月とオリオン大星雲、金星	63 人
13	3月11日(土)	月齢12の月と冬の大三角	50 人

e 子ども科学探検隊（定員各20名）（主催：神奈川県青少年科学体験活動推進協議会）

回数	月 日	会 場	参加人数
1	5月22日(日)	開講式（青少年センター）	45 人
		三菱みなとみらい技術館	(31 人)
		日本郵船氷川丸	(14 人)
2	5月28日(土)	横浜市立野毛山動物園	10 人
3	6月 4日(土)	はまぎん子ども宇宙科学館	14 人
4	6月18日(土)	市立よこはま動物園ズーラシア	15 人
5	7月23日(土)	東芝未来科学館	12 人

回数	月 日	会 場	参加人数
6	7月29日(金)	青山学院大学相模原キャンパス	10 人
7	8月 2日(火)	水産研究・教育機構 中央水産研究所	15 人
8	8月 3日(水)	関東学院大学 理工学部	15 人
9	8月 9日(火)	神奈川県環境科学センター	13 人
10	8月10日(水)	海外研究開発機構 横浜研究所	11 人
11	8月16日(火)	宇宙航空開発研究機構JAXA・相模原市立博物館	39 人
12	8月18日(木)	桐蔭横浜大学	17 人
13	8月25日(木)	産業能率大学	14 人
14	10月 1日(土)	伊勢原市立子ども科学館	19 人
15	10月 1日(土)	横浜市立金沢動物園	15 人
16	10月22日(土)	日本大学 生物資源科学部	10 人
17	11月 6日(日)	生命の星・地球博物館	18 人

f 科学のひろば（主催：神奈川工科大学、共催事業）

月 日	参加人数
6月18日(土)	731人

g 科学講演会

回数	月 日	内 容	参加人数
1	9月17日(土)	演題：「魚と日本人の深いかわり」 ～ 魚食文化を支える冷却技術～ 講師：杉本技術士事務所 杉本昌明 所長 主催：公益社団法人日本技術士会神奈川県支部 共催：神奈川県青少年科学体験活動推進協議会 後援：県立青少年センター	32 人
2	3月10日(金)	演題：「超小型ディーゼル発電機を搭載したレンジエクステンダーEV」 講師：株式会社ACR取締役、技監 岸下敬治 氏 主催：神奈川県青少年科学体験活動推進協議会 神奈川県立青少年センター	29 人

h 日本学生科学賞神奈川県作品展

期 間	内 容
10月6日(木)～11日(火) 月曜日を除く5日間	出展数 153 点(202 人) (中学生149 点、高校生4 点) 見学者総数 315 人 県知事賞2点、教育長賞2点、館長賞1点、他特別賞5点、入賞20点

i 横浜市中学校生徒科学作品展

期 間	内 容
9月14日(水)～20日(火) 月曜日を除く6日間	出展数 217 点(373 人)、見学者総数 361 人、入賞27 点

j 神奈川県高等学校総合文化祭理科部研究発表大会

月 日	内 容
11月5日(土)	発表 10 団体、見学者136 人(中高生114 人、一般22 人) 表彰式 1月15日(日) 神奈川県高等学校総合文化祭閉会式

k 神奈川県工業高等学校生徒研究発表会

月 日	内 容
1月20日(金)	発表12 校、見学者350 人(高校生280 人、一般70 人)

(1) 青少年科学体験支援事業

a 移動科学教室(おもしろ実験・科学工作教室)

回数	月 日	会 場		参加人数
1	5月15日(日)	平塚	平塚市神田公民館	49 人
2	6月12日(日)	茅ヶ崎	茅ヶ崎市松林公民館	51 人
3	6月19日(日)	厚木	厚木市相川公民館	51 人
4	8月19日(金)	二宮	二宮町生涯学習センターラディアン	39 人
5	9月25日(日)	箱根	箱根町仙石原文化センター	20 人
6	11月6日(日)	鎌倉	鎌倉市玉縄青少年会館	37 人
7	11月27日(日)	座間	座間市北地区文化センター	44 人

b 自然観察会

	月 日	会 場	内 容	参加人数
1	5月21日(土)	江ノ島周辺	地層・植物・磯辺生物観察	69 人
2	9月3日(土)	鶴見川流域センター周辺	魚とり	38 人
3	12月3日(土)	鶴見川流域センター周辺	野鳥観察	20 人

c 依頼団体科学教室

	月 日	会 場 (内 容)	参加人数
1	5月8日(日)	宮崎地域ケアプラザ(実験ショー・科学工作)	33 人
2	7月9日(土)	平沼小学校(実験ショー・科学工作)	75 人
3	7月9日(土)	港北公会堂(実験ショー・科学工作)	121 人
4	7月20日(水)	麻溝子どもセンター(実験ショー・科学工作)	100 人

	月 日	会 場 (内 容)	参加人数
5	8月 6日(土)	大和市生涯学習センター (大和市教育委員会主催 やまと夏のおもしろ科学館出展)	376人
6	8月23日(火)	藤棚地区センター(科学工作)	31 人
7	8月25日(木)	平塚市花水公民館(科学工作)	83 人
8	9月 9日(金)	青少年センター 指導者育成課(科学工作)	58 人
9	9月18日(日)	日野南小学校(天文観測=中止・工作)	181 人
10	10月13日(木)	厚木シティプラザ(科学工作)	59 人
11	11月11日(金)	大和市立桜ヶ丘小学校(実験ショー・科学工作)	112 人
12	11月12日(土)	大和市立北大和小学校(実験ショー・科学工作)	358 人
13	12月 1日(木)	横浜市立一本松小学校(実験ショー・科学工作)	325 人
14	12月3日(土)	大和市文化創造拠点シリウス (大和市教育委員会主催 やまと冬のおもしろ科学館出展)	590 人
15	12月 8日(木)	総合教育センター善行庁舎(天体観測)	16 人
16	12月10日(土)	青少年センター サポートプラザ(ロボット教室)	9 人
17	12月14日(水)	青少年センター 研修室2 (フレンドリースペース金沢ロボット教室)	16 人
18	1月26日(木)	青少年センター 横浜国立大学付属小学校(ロボット教室)	35 人
19	2月18日(土)	二宮町生涯学習センターラディアン(骨の観察)	22 人
20	2月23日(木)	横浜市立西中学校(実験ショー・科学工作)	60 人
21	2月26日(日)	横浜市浅間コミュニティハウス(科学工作)	16 人

## ウ ものづくり子どもサイエンス事業

ものづくり関係講座、ロボット関連事業を提供した。

### a プチロボで競走しよう地区大会・県大会(定員各24名)

	月 日	会 場		参加人数
1	5月14日(土)	横浜	青少年センター	23 人
2	6月11日(日)	相模原	相模原市立青少年学習センター	24 人
3	6月26日(日)	座間	座間市青少年センター	24 人
4	7月 3日(日)	藤沢	藤沢市湘南台文化センターこども館	24 人
5	7月16日(土)	伊勢原	伊勢原市立子ども科学館	24 人
6	8月24日(水)	二宮	二宮町生涯学習センターラディアン	21 人
7	9月10日(土)	綾瀬	綾瀬市役所	22 人
8	9月17日(土)	川崎	東芝未来科学館	22 人
9	10月 8日(日)	大和	大和市教育研究所理科センター	22 人
10	10月22日(日)	横浜2	青少年センター	20 人
11	1月22日(日)	県大会	青少年センター	23 人

b ロボットプログラム

(a) 初級ロボットプログラム(定員各14名)

回数	月 日	会 場	参加人数
1	5月 8日(日)	青少年センター (9:30~11:30)	15 人
2	5月 8日(日)	青少年センター (13:30~15:30)	16 人
3	6月 5日(日)	青少年センター (9:30~11:30)	16 人
4	6月 5日(日)	青少年センター (13:30~15:30)	16 人
5	7月29日(金)	向の岡工業高校(9:30~11:30)	14 人
6	8月 9日(火)	横須賀工業高等学校 (9:30~11:30)	14 人
7	9月 4日(日)	青少年センター (9:30~11:30)	16 人
8	9月 4日(日)	青少年センター (13:30~15:30)	15 人
9	9月11日(日)	相模原高校(9:30~11:30)	12 人
10	12月11日(日)	商工高校 (9:30~11:30)	10 人
11	12月18日(日)	青少年センター(9:30~11:30)	14 人
12	12月18日(日)	青少年センター(13:30~15:30)	15 人
13	2月 5日(日)	青少年センター (9:30~11:30)	16 人
14	2月 5日(日)	青少年センター (13:30~15:30)	16 人

(b) 中級ロボットプログラム(定員各14名)

回数	月 日	会 場	参加人数
1	7月10日(日)	青少年センター (9:30~11:30)	15 人
2	7月10日(日)	青少年センター (13:30~15:30)	14 人
3	7月29日(金)	向の岡工業高校 (13:30~15:30)	14 人
4	8月 9日(火)	横須賀工業高等学校(13:30~15:30)	14 人
5	9月11日(日)	相模原高校(13:30~15:30)	11 人
6	10月 2日(日)	青少年センター (9:30~11:30)	13 人
7	10月 2日(日)	青少年センター (13:30~15:30)	13 人
8	12月11日(日)	商工高校(13:30~15:30)	10 人
9	2月26日(日)	青少年センター (9:30~11:30)	17 人
10	2月26日(日)	青少年センター (13:30~15:30)	15 人

(c) 上級ロボットプログラム(定員各10名)

回数	月 日	会 場	参加人数
1	8月28日(日)	青少年センター (9:30~11:30)	11 人
2	8月28日(日)	青少年センター(13:30~15:30)	11 人
3	3月19日(日)	青少年センター (9:30~11:30)	12 人
4	3月19日(日)	青少年センター(13:30~15:30)	12 人

c 青少年のためのロボフェスタ2016 (主催：神奈川県青少年のためのロボフェスタ運営委員会)

月 日	参加人数		会 場
11月19日(土)	1,193 人 (内,青少年 644 人)	合計 3,324人 (内,青少年 1,780 人)	神奈川総合産業高等学校
11月20日(日)	2,131 人 (内,青少年 1,136 人)		
内容： 企業、研究機関、大学、高等学校によるロボットやロボット技術のブース出展 33 団体 (来場者が楽しめるようなロボットの実演や体験及び「さがみロボット産業特区」広報等) ボールイベント(ロボットによるステージショー、映画、講演) スタンプラリー(会場を観覧しながら、スタンプを集めると缶バッジをプレゼント) 高校生ロボット競技大会(技術力や課題解決力等の向上を図る～リトライマッチ～)			

d ものづくり体験教室(定員各20名)

回数	月 日	内 容	参加人数
1	8月12日(金)	顕微鏡を作ろう	33 人
2	8月17日(水)	動くおもちゃを作ろう (9:30~11:30)	18 人
3	8月17日(水)	動くおもちゃを作ろう (13:30~15:30)	21 人
4	8月27日(土)	はこカメラを作ろう (9:30~11:30)	22 人
5	8月27日(土)	はこカメラを作ろう (13:30~15:30)	20 人
6	11月 3日(土)	日時計を作ろう	20 人
7	12月11日(日)	クリスマスキャンドルを作ろう	20 人

エ 科学技術系人材育成事業

青少年の科学に対する興味・関心を喚起し、次世代の科学技術を担う人材の育成や、科学体験活動指導者の育成事業を実施した。

(ア) 課題探求型科学体験教室

a 小学生科学研究クラブ(1コース5回、定員12名)

実 施 日	参加延べ人数	修了証
6月25日(土)開講式、7月9日(土)、7月24日(日) 8月4日(木)、8月21日(日)発表会	43 人	7 人に授与

b 中高生サイエンスキャリアプログラム(中学生10回13名申込み、高校生13回49名申込み)

回数	月 日	会 場	対 象	参加人数
1	7月16日(土)	かながわ県民活動サポートセンター(開講式) 新都市ホール(かながわ発サイエンスフェア)	中・高	51 人
2	7月17日(日)	湘南工科大学	中・高	15 人
3	7月26日(火)	東芝未来科学館	中・高	10 人

回数	月 日	会 場	対 象	参加人数
4	7月27日(水)	青山学院大学理工学部	中・高	11 人
5	7月30日(土)	桐蔭横浜大学	中・高	8 人
6	7月30日(土)	東京工芸大学 厚木キャンパス	高校	13 人
7	8月2日(火)	(独)水産総合研究センター 中央水産研究所	中・高	2 人
8	8月2日(火)	日本大学 生物資源科学部(女子のみ)	高女子	10 人
9	8月3日(水)	日本大学 生物資源科学部	高校	7 人
10	8月5日(金)	J F E イジング 鶴見製作所	中	15 人
11	8月9日(火)	横須賀市自然・人文博物館中	中	5 人
12	8月10日(水)	三菱みなとみらい技術館	中・高	19 人
13	8月16日(火)	(独)宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所	中・高	18 人
14	8月19日(日)	県立産業技術短期大学校	高2以上	1 人
15	8月28日(日)	関東学院大学理工学部	高校	2 人

延べ高校生133、中学生54名参加

c 高校生天文講座(1コース11回、定員15名)

回数	月 日	内 容	参加人数
1	5月27日(金)	開講式とガイダンス、天体望遠鏡の使い方 基本編	8 人
2	6月4日(土)	太陽観測と撮影法	9 人
3	7月15日(金)	土星の観測	8 人
4	8月16日(火)	宇宙航空研究開発機構見学	7 人
5	8月26日(金)	天体望遠鏡の使い方 応用編	8 人
6	9月2日(金)	天体観測法 冷却CCDカメラの操作と撮影	7 人
7	10月22日(土)	天体観測法 冷却CCDカメラの撮影実習	6 人
8	11月23日(祝)	国立天文台見学	6 人
9	12月3日(土)	画像処理講座	6 人
10	1月14日(土)	画像処理実習と発表会準備	6 人
11	2月12日(日)	実習内容発表会と修了式、修了証を7名に授与	7 人

d 高校生ロボットスタッフ 高校生科学ボランティアと併せて運用

e 高校生科学ボランティア（高校生ロボットスタッフを含む）

実施日	内 容	参加人数
5月29日(日) ～ 2月11日(土・祝)	科学支援課の講座や県内各地のイベントで科学工作やロボットプログラムの支援、実験ショーのパフォーマンスや出展ブースのアシスタントとして活動 開講式 30 人出席、登録 30人、対象事業 52 講座 活動回数延べ181回、1003時間、活動証明書を 30 人に発行	30人

(1) 科学体験活動指導者育成

a おもしろ実験・科学工作指導者セミナー(各コース定員15人、7日間)

回数	平日コース (水曜日コース)	休日コース (日曜日コース)	内 容	参加人数
1	7月6日(水)	7月10日(日)	開講式	11 人
2	7月15日(水)	7月17日(日)	おもしろ実験ショーの練習	11 人
3	7月31日(日)		科学技術館の見学・資料収集	8 人
4	8月24日(水)		Boss2016見学・資料収集(東芝未来科学館)	7 人
	8月31日(水)	8月28日(日)	講義：演技の仕方と表現法	10 人
5	9月14日(水)	9月4日(日)	講義：実験の安全配慮義務	10 人
6	9月21日(水)	9月18日(日)	発表に向けての練習・準備	11 人
7	9月28日(水)	10月2日(日)	発表会、修了証を 10 人に授与	10 人

b 天文研究クラブ(1コース6回、定員15名)

回数	内 容	参加延人数
5月21日(土)、7月23日(土)、9月17日(土) 11月5日(土)、1月21日(土)、3月18日(土)	惑星・星雲・星団の観測、撮影方法 研究、相互講評等	30 人

オ 理科教育人材育成事業

教員および教員を目指す人材への支援事業を実施した。

a 教員研修講座(総合教育センター連携研修講座)

回数	月 日	内 容	参加人数
1	7月26日(火)	生物実験講座(小・中・特別支援学校の現職教員対象)	10 人
2	7月27日(水)	電気実験講座(小・中・特別支援学校の現職教員対象)	9 人
3	7月28日(木)	化学実験講座(小・中・特別支援学校の現職教員対象)	15 人

b 依頼型教員研修講座

回数	月 日	内 容	参加人数
1	6月28日(火)	茅ヶ崎寒川地区教育研究会理科部会、ものづくり(物理)	20 人
2	6月29日(水)	大和市教育委員会教員研修、小学校理科観察・実験の基礎	20 人
3	7月22日(金)	鎌倉市教育委員会教職員研修、物理・化学分野	15 人
4	7月22日(金)	鎌倉市教育委員会教職員研修、生物分野	13 人

c 小学校教員養成課程学生対象講座（大学連携支援事業）

回数	月 日	内 容	参加人数
1	3月1日(水)	鎌倉女子大学「物理講座」	20 人
2	3月2日(木)	鎌倉女子大学「生物講座」	19 人

d 社会体験研修受入

内 容	内 訳	参加人数
現職教員社会体験研修	5年経験者研修3日間（高校6、中学校1、小学校1）、10年経験者研修3日間（小学校1）	9 人
インターンシップ	連携大学6日間（1）、県庁5日間（39）高校生3日間(3)，高校生5日間(1)	44 人
職場体験	高等学校（1日・3校・25人）	25 人

(5) 青少年や県民の舞台芸術活動への支援

児童文化活動支援として、人形劇などの児童文化活動を行っているグループの成果発表や相互交流事業を実施するとともに、青少年の舞台芸術活動と県民の芸術文化の振興を図るため、優れた舞台芸術（演劇、舞踊等）の鑑賞事業及び演劇・創作舞踊の講習会、発表会等の創造活動事業を実施した。また、伝統芸能等普及振興のため、歌舞伎、人形浄瑠璃文楽及び地芝居を上演した。さらに、平成24年度に実施した開館50周年事業の取組みを契機に、「マグカル劇場」に係る事業を展開するとともに、青少年センターが、学校演劇の殿堂として中学・高校生を主とした学校演劇活動を支援するため、「学校演劇エンパワーメント・プロジェクト」を実施した。

その一方で、県民等が主催する演劇、舞踊、コンサート、講演会など、文化活動の発表の会場や、練習場所を提供した。

区分	事業名	概要	鑑賞(参加)対象	観客(参加者)数
ア 青少年舞台芸術活動推進事業				
(ア)児童文化活動推進事業	かながわ児童劇グループ交流会(かながわ人形劇フェスティバル)	地域で人形劇などの児童文化活動を行っているアマチュアグループに活動成果の発表と相互交流の場を提供するとともに、子どもたちに人形劇等の鑑賞の機会を提供する。	幼児・小学生、その保護者など	532人
(イ)青少年舞台芸術等鑑賞事業	青少年芸術劇場	青少年に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供して舞台芸術に対する理解を深め、教養の向上を通じて豊かな人間性を育むとともに、県民に鑑賞する機会を提供し、舞台芸術の普及を図ることを目的に、演劇及び舞踊の鑑賞会を実施する。	小学生以上	523人
	青少年ダンス鑑賞会		小学生以上	309人
(ウ)演劇舞踊等創造活動事業	小・中・高等学校演劇発表会	小・中・高等学校を対象に、演劇の発表会を実施する。	小学生	1,066人
			中学生	1,464人
			高校生	1,341人
	中学校創作劇発表会	中学校を対象に、創作劇の発表会を実施する。	中学生	1,422人
	中・高等学校演劇講習会	中・高等学校の生徒と教員を対象に、学校演劇における基礎的理論と実技を習得し、演劇発表に活用することを目的に、演出、演技、舞台技術、照明、音響等に係る総合的な創造方法を学習する機会を提供する。	中学生及び教員	1,313人
			高校生及び教員	685人
	青少年ダンス発表会	表現芸術の充実と向上を図ることを目的に創作舞踊発表会を実施する。	小学生以上	1,730人
青少年ダンス講習会	青少年、教員等を対象に、ダンス創作の基礎的理論や創作方法の習得を目的に講習会を実施する。	中学生以上及び教員	593人	

区分	事業名	概要	鑑賞(参加)対象	観客(参加者)数
	演劇指導者のための実践的ワークショップ	小・中・高等学校の演劇部顧問や市民劇団等の指導者、学校で指導的立場にある生徒などを対象に、指導者に必要なノウハウを習得することを目的にワークショップを開催する。	演劇部顧問、市民劇団等の指導者、指導的立場にある生徒など	38人
(I)学校演劇エンパワーメント・プロジェクト	演劇部実践指導塾「演劇部お助け講座」	中・高等学校の演劇部を対象に、演劇部の底上げを図るための実践的な講座を実施する。	中学校の演劇部	295人
			高等学校の演劇部	127人
	学校演劇交流フェスティバル	学校演劇の優秀校による公演を鑑賞する機会を設けるとともに、学校演劇をテーマにシンポジウムを実施する。	中学生、高校生、一般	476人
イ マグネット・カルチャー推進事業				
(ア)マグカル劇場	マグカル劇場「青少年のための芝居塾」	神奈川県演劇連盟に所属する担当劇団と広く一般から募った青少年が、キャストだけでなく舞台美術や照明、大道具・小道具から制作にいたるまで共に芝居づくりを行い、その成果をホール等で発表する。	高校生～29歳以下の者	23人
	上記公演		一般	751人
	マグカルフライデー	公演や発表を行いたい個人・団体に、公演場所として多目的プラザを金曜日1日、施設・設備使用料を無料で提供することにより、有能な人材の発掘を目指す。	青少年、一般	637人
	マグカルシアター	演劇等の公演を行いたい個人・団体に、公演場所として多目的プラザを約1週間、施設・設備使用料を無料で提供することにより、有能な人材の発掘を目指す。	青少年、一般	5,680人
	マグカル・ハイスクール演劇フェスタ	「神奈川県高等学校演劇発表会」で最優秀賞など優れた成績を修めた高校演劇を上演し、広く県民に紹介することで、学校演劇の発展向上と演劇文化の振興に資する。	青少年、一般	2,356人
(イ)パフォーミングアーツ人材育成事業	マグカル・パフォーミングアーツ・アカデミー	マグカル事業の核となる舞台芸術人材を育成するため、歌、ダンス、演技の実践を学ぶアカデミーを実施する。	16歳以上26歳以下の者	35人
ウ 伝統芸能等普及振興事業				
(ア)かながわ伝統芸能祭	歌舞伎鑑賞教室	文化芸術の鑑賞機会の充実と活動の場づくりの一環として、県民の伝統文化への理解を促進し、継承、発展への機運を盛り上げるために、青少年・一般県民を対象に、歌舞伎を上演する。	青少年、一般	1,388人

区分	事業名	概要	鑑賞(参加)対象	観客(参加者)数
	人形浄瑠璃文楽	文化芸術の鑑賞機会の充実と活動の場づくりの一環として、県民の伝統文化への理解を促進し、継承、発展への機運を盛り上げるために、青少年・一般県民を対象に、人形浄瑠璃文楽を上演する。	青少年、一般	1,141人
	かながわこども民俗芸能フェスティバル~れとるびーと2017~	地域で継承されている民俗芸能を広く県民に紹介することにより、伝統文化への理解を深め、伝統文化の継承、発展への機運を醸成するとともに、後継者育成を支援するため、民俗芸能に係るイベントを開催する。	青少年、一般	264人
	地芝居2017	青少年・一般県民を対象に、県内で地芝居と伝統芸能を継承する団体の活動成果を披露する。	青少年、一般	765人
<b>エ 共催・後援事業</b>				
	共催事業	青少年の健全育成や舞台芸術活動振興等の趣旨に適合し、共催することにより一層その成果を高めることができる事業を、共催者、後援者として実施する。	一般	19,731人
	後援事業		一般	2,511人
<b>オ ホール等の運営</b>				
	ホール、多目的プラザ及び練習室の貸出し	県民等が主催する演劇、舞踊、コンサート、講演会など、文化活動の発表の会場や、練習場所を提供する。	一般	84,822人

各事業の内容は次のとおりである。

ア 青少年舞台芸術活動推進事業

(ア) 児童文化活動推進事業

児童の豊かな情操と想像力を育む事業を実施し、児童文化活動の促進を図った。

かながわ児童劇グループ交流会（かながわ人形劇フェスティバル）

地域で人形劇などの児童文化活動を行っているアマチュアグループに活動成果の発表と相互交流の場を提供するとともに、子どもたちに人形劇等の鑑賞の機会を提供した。

月 日	内 容 ・ 講 師 等	対 象	回 数	観 客 数
2月25日(土) 26日(日)	第33回かながわ人形劇フェスティバル 人形劇「なかよし」 他8演目 出演 9団体 講師 月永 勉(デザインルーム美研主宰) 鏡 龍光(あ・ぶ・ぶ@人形劇場主宰)	幼児・小学生、 その保護者など	4回	532人

(イ) 青少年舞台芸術等鑑賞事業

青少年に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供して舞台芸術に対する理解を深め、教養の向上を通じて豊かな人間性を育むとともに、県民に鑑賞する機会を提供し、舞台芸術の普及を図ることを目的に、演劇及び舞踊の鑑賞会を実施した。

a 演劇（青少年芸術劇場）

月 日	内 容 等	対 象	観 客 数
7月16日(土)	第301回青少年芸術劇場 ミュージカル「白雪姫」 劇団東少	子供から一 般	523人

b 舞踊（青少年ダンス鑑賞会）

月 日	内 容 ・ 講 師 等	対 象	参 加 者 数
8月11日(水)	第43回神奈川県青少年ダンス鑑賞会 モダンダンス (振付)能美健志 (出演)能美健志、軽部裕美 ジャズダンス (振付)中村隆彦 (出演)本田瑞貴、石田萌夏 他  鑑賞会は、「講習会・鑑賞会」の2日目に実施	小学生以上	309人

(ウ) 演劇舞踊等創造活動事業

青少年が日頃行っている芸術創造活動の成果を発表する場を提供するほか、創造活動を支援するための講習会を開催するとともに、演劇指導者を対象に、演劇を制作する過程で必要なノウハウを習得する機会を提供した。

a 小・中・高等学校演劇発表会

月 日	内 容 ・ 講 師 等	対 象	参加者数
2月18日(土)	第52回神奈川県小学校演劇発表会 出演 県内小学校9校 講師 小川 信夫(劇作家、川崎市文化賞受賞) 石坂 慎二(公益社団法人日本児童青少年演劇協会事務局長、演劇評論家)	小学生	1,066人
12月3日(土) 4日(日)	第54回神奈川県中学校演劇発表会 出演 県内中学校14校 講師 石渡 アキラ(演劇教育指導者、演出家) 山下 秀光(全国中学校文化連盟理事長) 大沢 清(全国中学校文化連盟副理事長)	中学生	1,464人
11月19日(土) 20日(日)	第55回神奈川県高等学校演劇発表会 出演 県内6地区代表13校 講師 岩田 廣明(舞台監督) 小林 亜紀子(俳優) 新海 隆博(高校演劇指導者)	高校生	1,341人

b 中学校創作劇発表会

月 日	内 容 ・ 講 師 等	対 象	参加者数
8月3日(水) 4日(木)	第11回神奈川県中学校創作劇発表会 出演 県内各地区から推薦された9校と招待校2校 講師 石渡 アキラ(演出家) 篠原 久美子(劇作家)	中学生	1,422人

c 中・高等学校演劇講習会

中・高等学校の生徒と教員を対象に、学校演劇における基礎的理論と実技を習得し、演劇発表に活用することを目的に、演出、演技、舞台技術、照明、音響等に係る総合的な創造方法を学習する機会を提供した。

月 日	内 容 ・ 講 師 等	対 象	参加者数
8月4日(木) 5日(金)	第52回神奈川県中学校演劇講習会 参加校 58校 講師 吉岡 陽子(舞踊家) 菱沼 彩菜(舞踊家) 羽田 真(俳優) 篠原 久美子(劇作家) 坂本 鈴(劇作家) 石渡 アキラ(演出家) 井上 学(劇作家、演出家) 山田 容弘(教諭) 柴崎 滋(殺陣師) ちやく(俳優) 泉山 友子(教諭) 久保 とみい(教諭) 渡部 園美(教諭)	中学生及 び教員	1,313人
7月30日(土) 31日(日)	第53回神奈川県高等学校演劇講習会 参加校 51校(団体) 講師 望月 純吉(演出家) 曳地 伸之(俳優) オーハシ ヨースケ(演劇家) 篠崎 隆雄(劇作家) 菊地 竜志(殺陣師)	高校生及 び教員	685人

d 青少年ダンス発表会

表現芸術の充実と向上を図ることを目的にダンス発表会を実施した。

月 日	内 容 ・ 講 師 等	対 象	参加者数
11月6日(日)	第51回神奈川県青少年ダンス発表会 出演 小・中・高等学校・大学等38校(団体) 講師 高橋 和子(横浜国立大学教授) 細川 江利子(埼玉大学教授)	小学生以 上	1,730人

e 青少年ダンス講習会

青少年、教員等を対象に、ダンス創作の基礎的理論や創作方法の習得を目的に講習会を実施した。

月 日	内 容 ・ 講 師 等	対 象	参加者数
8月10日(水) 11日(木・ 祝)	第43回神奈川県青少年ダンス講習会 参加校 20校 講師 モダンダンス 能美健志、軽部裕美 他 ジャズダンス 中村隆彦、本田瑞貴、石田萌夏 他 鑑賞会を「講習会・鑑賞会」の2日目に実施	中学生以 上及び教 員	593人

f 演劇指導者のための実践的ワークショップ

小・中・高等学校の演劇部顧問や市民劇団等の指導者、学校で指導的立場にある生徒などを対象に、指導者に必要なノウハウを習得することを目的にワークショップを開催した。

月 日	内 容 ・ 講 師 等	対 象	参加者数
6月4日(土) 11日(土) 18日(土) 7月9日(土) 18日(月) 23日(土)	演劇指導者のための実践的ワークショップ 講師 篠原 久美子(劇作家) 濱田 重行(当館舞台技術コーディネーター)	演劇部顧問、市民劇団等の指導者、指導的立場にある生徒など	38人

(I) 学校演劇エンパワーメント・プロジェクト

青少年センターが、学校演劇の殿堂として中学・高校生を主とした学校演劇活動を支援するため、学校演劇部指導等に係る事業を実施した。

a 演劇部実践指導塾「演劇部お助け講座」

中・高等学校の演劇部を対象に、演劇部の底上げを図るための実践的な講座を実施した。

月 日	内 容 ・ 講 師 等	場 所	対 象	参加者数
1月14日(土)	演劇部お助け講座(中学生対象) 参加校 15校 講師 井上 学(劇作家、演出家)	相模原市立谷口中学校	中学校の演劇部	133人
1月21日(土)	演劇部お助け講座(中学生対象) 参加校 8校 講師 井上 学(劇作家、演出家)	学校法人桐光学園		60人
2月11日(土)	演劇部お助け講座(中学生対象) 参加校 5校 講師 井上 学(劇作家、演出家)	厚木市立厚木中学校		53人
2月25日(土)	演劇部お助け講座(中学生対象) 参加校 6校 講師 井上 学(劇作家、演出家)	平塚市立江陽中学校		49人
1月28日(土)	演劇部お助け講座(高校生対象) 参加校 6校 講師 今野 直美(俳優、ダンサー)	厚木市文化会館	高等学校の演劇部	32人
2月 4日(土)	演劇部お助け講座(高校生対象) 参加校 4校 講師 横田 和弘(劇作家、演出家)	横須賀市青少年会館		32人
2月 5日(日)	演劇部お助け講座(高校生対象) 参加校 7校 講師 見上 裕昭(俳優、演出家)	茅ヶ崎市青少年会館		38人
2月12日(日)	演劇部お助け講座(高校生対象) 参加校 4校 講師 高田 豪(演劇講師)	川崎市生涯学習プラザ		25人

b 学校演劇交流フェスティバル

学校演劇の優秀校による公演を鑑賞する機会を設けるとともに、学校演劇をテーマにシンポジウムを実施した。

月 日	内 容 ・ 講 師 等	対 象	参加者数
9月18日(日)	学校演劇交流フェスティバル 第1部：演劇上演 横浜市立日吉台西中学校 「ファントムシップとパブロピカソの旋律」 県立大船高等学校 「戦記 空より高く」 第2部：ゲストによる対談 ゲスト：杉原 邦生(演出家、舞台美術家) 三浦 直之(劇作家、演出家) コーディネーター：田丸 慎司(桐光学園演劇部顧問)	中学生・ 高校生、 一般	476人

イ マグネット・カルチャー推進事業

「若者がいつでも、自らの才能を発揮でき、有能な人材を発掘できる場」として、若者文化の開放区をめざすための事業を実施した。

(7) マグカル劇場

a 青少年のための芝居塾

月 日	ジャンル	出演団体	演 目	公演(練習)回数	観客(参加者)数
5月7日(土)～ 8月21日(日)	ストレートプレイ	青少年のための芝居塾 塾生ほか	「7」2016ver. - 僕らの7日目は、 毎日やってくる -	練習37回	23人
8月17日(水) 18日(木) 19日(金) 20日(土) 21日(日)				公演10回	751人

b マグカルフライデー

月 日	ジャンル	出演団体	演目	公演数	観客数
4月22日(金)	音楽	Emi U Laugh	Laugh on Spring	1回	20人
5月20日(金)	紙芝居	手作り紙芝居劇団 ぐるぐる座	手作り紙芝居シアター in もみじ坂	2回	154人
6月 3日(金)	演劇	演劇ユニット GEKI x HIRA	ジョージとロメロ	2回	123人
7月1日(金)	演劇	いちまるよん	奥山眞佐子ひとり芝居 「にぎりえ」	1回	61人
8月26日)	映画	幻野映画プロジェクト	私の青空・終戦63	4回	87人
9月22日(木) ～23日(金)	演劇	演劇集団ごっこ	霧の降る街	4回	192人

c マグカルシアター

月 日	ジャンル	出演団体	演目	公演数	観客数
5月2日(月) ～4日(水・祝)	演劇	趣向ジュニア	大阪ミナミの高校生	4回	190人
5月14日(土) ～15日(日)	演劇	劇団河童座	狐とぶどう	3回	99人
5月26日(木) ～29日(日)	演劇	劇団820製作所	Hamlet	7回	244人
6月11日(土) ～12日(日)	演劇	BACKSPACE	空色ポケット	3回	55人
6月25日(土) ～26日(日)	演劇	演劇Produce「螺旋階段」	ぐるぐる回る地球に乗って	4回	242人
7月8日(金) ～10日(日)	演劇	もじゃもじゃ頭とへらへら眼鏡	充電するリアリティ	5回	531人
7月15日(金) ～17日(日)	演劇	waqu:iraz	わたしたちのからだは星でできている	6回	357人
9月7日(水)～ 11日(日)	演劇	Phantom Ocean	金玉	6回	179人
10月14日(金) ～16日(日)	演劇大会	劇王かながわ実行委員会	劇王かながわ	4回	461人
10月22日(土) ～23日(日)	演劇	劇団「無題」	モノクロイド	4回	80人
11月10日(木) ～13日(日)	演劇	ガムシャニズム	英雄学園	6回	280人
11月30日(水)～ 12月4日(日)	演劇	虹の素	失恋博物館	8回	471人
1月28日(土) ～29日(日)	演劇	空飛ぶペンギンカンパニー	銀杏はだれのもの	4回	256人
2月9日(木) ～12日(日)	演劇	劇団喫茶なごみ	蚕の相談室	7回	323人
2月25日(土) ～26日(日)	人形劇	人形劇(8団体)+紙芝居	人形劇フェスティバル	4回	442人
3月18日(土)～ 20日(月・祝)	演劇大会	12団体	演劇博覧会	24回	1,470人

d マグカル・ハイスクール演劇フェスタ

月 日	ジャンル	出演団体	出演校(団体)数	観客数
12月18日(日)	高校演劇	桐蔭学園高等学校・中等教育学校、県立大船高等学校	2	440人
3月24日(木) ～30日(水)	高校演劇	横浜地域	35	1,916人

(イ) パフォーミングアーツ人材育成事業

a マグカル・パフォーミングアーツ・アカデミー

月 日	内 容	講習回数	参加者数
4月1日(金) ~3月31日(金)	マグカル事業の核となる舞台芸術人材を育成するため、歌、ダンス、演技の実践を学ぶアカデミーを実施する。	84回	35人

ウ 伝統芸能等普及振興事業

伝統芸能の鑑賞や、地域で継承されている地芝居・民俗芸能等を広く県民に紹介することにより、伝統文化への理解を深め、伝統文化の継承、発展への気運を醸成するため、伝統芸能の上演等を行った。

(ア) かながわ伝統芸能祭

a 歌舞伎鑑賞教室

月 日	内 容 等	対象	観客数
7月26日(火) 27日(水)	歌舞伎鑑賞教室 「解説 歌舞伎のみかた」 「卅三間堂棟由来」出演：中村 魁春、坂東 彌十郎 ほか	青少年・ 一般	1,388人

b 人形浄瑠璃 文楽

月 日	内 容 等	対象	観客数
10月 9日(日)	人形浄瑠璃 文楽 【昼の部】 解説(あらすじ) 「妹背山婦女庭訓」杉酒屋の段 道行恋苧環の段 姫戻りの段・金殿の段 【夜の部】 解説(あらすじ) 「近頃河原の達引」四条河原の段 堀川猿廻し段	青少年・ 一般	1,141人

c かながわこども民俗芸能フェスティバル

青少年・一般県民を対象に、県内各地で受け継がれている様々な民俗芸能の中から、子どもたちが活躍している団体を紹介した。

月 日	出演団体等	対象	観客(参加者)数
11月27日(日)	・小向獅子舞保存委員会(川崎市幸区) ・相模国飯山白龍太鼓保存会(厚木市) ・生麦獅子保存会(横浜市鶴見区)	青少年・ 一般	264人

d 地芝居 2017

青少年・一般県民を対象に、地芝居をはじめとする県内各地域で伝統芸能を継承する団体の活動成果を披露した。

月 日	出演団体等	対象	観客(参加者)数
3月 5日(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乙女文楽(川崎市中原区)</li> <li>・横浜市立和泉小学校“和泉っ子歌舞伎”(横浜市泉区)</li> <li>・歌舞伎レクチャー～義太夫とは～</li> <li>・大谷芸能保存会歌舞伎部会(海老名市)</li> </ul>	青少年・一般	765人

エ 共催、後援事業

青少年の健全育成や舞台芸術活動振興等の趣旨に適合し、青少年センターが共催、後援することにより、一層その成果を高めることができる次の事業を、共催者、後援者として実施した。

a 共催事業

実施日	事業名	主催者	観客(参加者)数
28年4月23日(土)～ 29年1月31日(火)	かもめの会講習会	かながわ人形劇ネットワーク「かもめの会」	125人
6月4日(土)	教育委員会とフリースクール等による 不登校相談会(2)	県子ども教育支援課	95人
6月18日(土)	科学のひろば(1)	神奈川工科大学	615人
6月18日(土)～19日(日)	第54回神奈川県高等学校総合体育大会 第25回神奈川県高等学校ダンスコンクール	神奈川県高等学校体育連盟	2,805人
7月18日(月・祝)	(公財)神奈川県青少年交響楽団 第198回演奏会	(財)神奈川県青少年交響楽団	220人
7月29日(金)	神奈川県高等学校文化連盟演劇専門部 舞台技術講習会	神奈川県高等学校演劇連盟演劇専門部	660人
8月12日(金) ～14日(日)	かながわ伝統芸能ワークショップ「日本舞踊に学ぶ和の作法～おくゆかしい日本文化の香り」	県文化課	168人
8月23日(火) ～24日(水)	文化フェスタ 2016	神奈川県高等学校文化連盟	898人
9月3日(土)	教育委員会とフリースクール等による 不登校相談会(2)	県子ども教育支援課	195人
9月14日(水) ～20日(火)	横浜市立中学校生徒科学作品展	横浜市立中学校教育研究会理科部会	566人
9月23日(金) ～25日(日)	第29回 ROBO - ONE/二足歩行ロボットバトル	一般社団法人二足歩行ロボット協会	1,150人
10月1日(土)	第58回神奈川県中学校連合音楽会	神奈川県小中学校音楽教育連盟	1,440人

実施日	事業名	主催者	観客(参加者)数
10月22日(土) ～23日(日)	第58回関東ブロック民俗芸能大会	神奈川県教育委員会 第58回関東ブロック 民俗芸能大会実行委員 会	673人
11月4日(金) ～5日(土)	第27回神奈川県高等学校理科部研究発表大会 (1)	神奈川県高等学校文化 連盟理科専門部会	143人
11月13日(日)	かながわの太鼓	神奈川県 神奈川県太鼓連盟	863人
11月22日(火) ～23日(水・祝)	第51回神奈川県名流邦舞祭	(社)日本舞踊協会神奈 川県支部	995人
11月25日(金) ～27日(日)	第17回手づくり紙芝居コンクール	紙芝居文化推進協議会	316人
12月7日(水) ～11日(日)	神奈川県演劇連盟合同公演	神奈川県演劇連盟	955人
12月16日(金) ～26日(月)	第50回神奈川県中学校美術展	神奈川県公立中学校教 育研究会美術科部会	603人
29年1月15日(日)	神奈川県高等学校総合文化祭・総合閉 会式	神奈川県高等学校文化 連盟	917人
1月19日(木) ～20日(金)	第25回神奈川県工業高等学校生徒研究 発表会	神奈川県高等学校教科 研究会工業部会	429人
2月4日(土) ～5日(日)	神奈川県児童福祉施設あすなる交歓 会・作品展	神奈川県児童福祉文化 体育協会	2,170人
2月10日(金) ～12日(日)	神奈川県高等学校定通教育研究会文化 部芸術祭	神奈川県高等学校定通 教育振興会文化部	570人
3月4日(土)	能楽ワークショップ	県文化課	60人
3月23日(木) ～27日(月)	2016関東中学校演劇コンクール	関東中学校演劇研究協 議会	2,100人

1：科学部関連事業

2：青少年サポート課関連事業

b 後援事業

実施日	事業名	主催者	観客(参加者)数
4月10日(日)～ 29年3月12日(日)	青少年のための日本舞踊講座	(公社)日本舞踊協会神 奈川県支部	442人
6月25日(土)～ 26日(日)	Ballet Art KANAGAWA 2016 Summer Ballet Concert Vol.14	(公社)日本バレエ協会 関東支部神奈川プロッ ク	1,963人

8月27日(土)、 29年2月11日(土)	戯曲ブラッシュアップワークショップ「月いちリーディング」	一般社団法人日本劇作家協会	106人
--------------------------	------------------------------	---------------	------

オ ホール等の運営

県民等が主催する演劇、舞踊、コンサート、講演会など、文化活動の発表の会場や、練習場所を提供した。

利用者の状況（主催、共催事業を除く。）

（単位：人）

区分	演劇関係	舞踊関係	音楽関係	講演・式典等	計
ホール	14,918	20,593	19,233	19,868	74,612
多目的プラザ	312	1,442	70	838	2,662
練習室	148	4,481	1,473	1,446	7,548
合計	15,378	26,516	20,776	22,152	84,822